

[資 料]

資料

資料 - 1 調査団員・氏名

(1) 第1次現地調査

松島 正明	団長	国際協力事業団 無償資金協力部 業務第一課
本間 穰	計画管理	同上
鈴木 敏彦	業務主任 / 建設施設整備計画	株式会社 大建設計
高瀬 由康 ^{*1}	照査技術者	同上
佐藤 美奈子	社会環境 / 教育計画	同上
中山 順二	建設事情調査 / 調達計画・積算	同上
岡田 啓 ^{*2}	建設事情調査 / 施工計画 / 施工監理	同上
高藤 勝己 ^{*2}	建設事情調査 / 施工計画 / 施工監理	同上
米澤 正己	建築	同上
須田 有久	サイト状況調査	同上
野村 周平	構造	同上
永沼 俊道	水理地質	同上
石橋 攻	業務調整	同上

* 1 照査技術者：高瀬 由康は、現地調査には同行していない。

* 2 建設事情調査 / 施工計画 / 施工監理：岡田 啓は、私事により現場監理の全期間について調査を全うすることが困難になったため、建設事情調査の期間のみ調査に従事し、施工計画、施工監理は高藤勝己に業務を引き継いだ。

(2) 第2次現地調査

本間 穰	計画管理	国際協力事業団 無償資金協力部 業務第一課
山田 理		国際協力事業団 無償資金協力調査員
鈴木 敏彦	業務主任 / 建設施設整備計画	株式会社 大建設計

(3) 基本設計概要説明・追加現地調査

大田 孝治	団長	国際協力事業団 ザンビア事務所
鈴木 敏彦	業務主任 / 建設施設整備計画	株式会社 大建設計
中山 順二	建設事情調査 / 調達計画・積算	同上
須田 有久	サイト状況調査	同上

(4) 基本設計調査成果概要説明

大田 孝治	団長	国際協力事業団 ザンビア事務所
鈴木 敏彦	業務主任 / 建設施設整備計画	株式会社 大建設計
中山 順二	建設事情調査 / 調達計画・積算	同上
八代 徹夫 ^{*1}	建築	同上

* 1 建築担当：米澤 正己は、退職につき八代徹夫に業務を引き継いだ。

資料-2 調査日程

(1)-1 第1次現地調査

日程	官団員		業務主任/ 建設施設整備計画	社会環境/ 教育計画	建設事情調査/ 調査計画・積算	建設事情調査/ 施工計画/ 施工監理	建築	サイト状況調査	構造	業務調整
	団長	計画管理								
1	5/26	東京発 > 香港着・発 > ヨハネスブルク					東京発 > 香港着・発 > ヨハネスブルク			
2	5/27	ヨハネスブルク着・発 > ルサカ着 日本大使館、JICA事務所打合								
3	5/28	教育省との協議								
4	5/29	教育省との協議 試験施工サイト調査								
5	5/30	試験施工サイト調査・類似施設調査(草の根無償) 財務省打合せ								
6	5/31	教育省との協議、JICA報告								
7	6/1	類似施設調査(既設校)			東京発 > 香港着・発 > ヨハネスブルク	類似施設調査	東京発 > 香港着・発 > ヨハネスブルク			
8	6/2	団内打合			ヨハネスブルク着・発 > ルサカ着	団内打合	ヨハネスブルク着・発 > ルサカ着			
9	6/3	教育省との協議・日本大使館報告・JICA報告			教育省との協議、積算調査配布 (試験施工)業者ヒヤリング		教育省との協議、サイト調査準備			
10	6/4	ルサカ発	議事録署名 サイト状況調査・教育省協議		積算調査配布 (試験施工)業者ヒヤリング		サイト状況調査・近隣小学校調査		業務調整	
11	6/5		州、地区教育局と協議 コンパウンド調査		積算調査配布 (試験施工)業者ヒヤリング		サイト状況調査・近隣小学校調査		業務調整	
12	6/6		コンパウンド調査		(試験施工)現地業者 P/Q、グループ分け		サイト状況調査・近隣小学校調査		業務調整	
13	6/7		ルサカ発 > ヨハネスブルク着・発 > 香港		教育省と協議 コンパウンド調査		(試験施工)現説		サイト状況調査・近隣小学校調査	
14	6/8		東京着	香港着・発 > 東京着		団内打合せ				
15	6/9	資料整理								
16	6/10	近隣小学校調査		現地業者技術力調査 現場視察		サイト状況調査・近隣小学校調査		業務調整		
17	6/11	近隣小学校調査		現地業者技術力調査 現場視察		サイト状況調査・近隣小学校調査		業務調整		
18	6/12	コンパウンド調査		(試験施工)質疑回答		サイト状況調査・近隣小学校調査		業務調整		
19	6/13	コンパウンド調査		現地業者技術力調査 竣工建物調査		サイト状況調査・近隣小学校調査		業務調整		
20	6/14	コンパウンド調査		現地業者技術力調査 竣工建物調査		土地証書取得		業務調整		
21	6/15	団内打合せ								
22	6/16	資料整理								
23	6/17	インフラ調査 コンパウンド調査		資機材調達調査		土地証書取得・水道局調査		業務調整		
24	6/18	他援助機関訪問 コンパウンド調査		資機材調達調査		土地証書取得		業務調整		
25	6/19	他援助機関訪問 コンパウンド調査		(試験施工)入札/開札、契約交渉		ルサカ発 > ヨハネスブルク着・発 > 香港				
26	6/20	事業計画・事業評価のための調査		工場検査		香港着・発 > 東京着				
27	6/21	教育省と協議		現地コンサルタント技術力調査						
28	6/22	団内打合せ								
29	6/23	資料整理								
30	6/24	教育省と協議		(試験施工)契約締結						
31	6/25	世銀調査、JICA事務所報告		現地コンサルタント 現地業者技術力調査						
32	6/26	ルサカ発 > ヨハネスブルク着・発 > 香港		現地コンサルタント 現地業者技術力調査						
33	6/27	香港着・発 > 東京着		建設事情調査						
34	6/28			積算調査回収						
35	6/29			団内打合せ						
36	6/30			資料整理						
37	7/1			積算調査回収						
38	7/2	ルサカ発 > ヨハネスブルク着・発 > 香港		試験施工監理						
39	7/3	香港着・発 > 東京着		試験施工監理						
202	12/19			試験施工監理						
203	12/20			資料整理						
204	12/21	ルサカ発 > ヨハネスブルク着・発 > 香港		試験施工監理						
		香港着・発 > 東京着		試験施工監理						

(1) -2 第1次現地調査(削井計画)

日程		水理地質	
1	7/20 土	東京発 > 香港着・発 > ヨハネスブルク	
2	7/21 日	ヨハネスブルク着	
3	7/22 月	ヨハネスブルク発 > ルサカ着	水源調査準備
4	7/23 火	掘削業者との契約交渉	水源調査(チェルストーン)
5	7/24 水	水源調査(チェルストーン)	
6	7/25 木	水源調査(ンゴンベ)	
7	7/26 金	水源調査(ンゴンベ)	
8	7/27 土	試掘監理	水源調査(ムテンデレ)
9	7/28 日	試掘監理	水源調査(ムテンデレ)
10	7/29 月	試掘監理	水源調査(カバナナ)
11	7/30 火	試掘監理	水源調査(カバナナ)
12	7/31 水	試掘監理	市水調査(リバラステージ)
13	8/1 木	試掘監理	市水調査(リバラステージ)
14	8/2 金	試掘監理	市水調査(ノースミード)
15	8/3 土	試掘監理	市水調査(ノースミード)
16	8/4 日	試掘監理	水源調査(チャザンガ)
17	8/5 月	試掘監理	水源調査(チャザンガ)
18	8/6 火	試掘監理	水源調査(マラボディ・マンデヴ)
19	8/7 水	試掘監理	水源調査(マラボディ・マンデヴ)
20	8/8 木	試掘監理	水源調査(チュンガ)
21	8/9 金	試掘監理	水源調査(チュンガ)
22	8/10 土	試掘監理	水源調査(チレンジェサウス)
23	8/11 日	試掘監理	水源調査(チレンジェサウス)
24	8/12 月	試掘監理	水源調査(チャワマ・ジョンハワード)
25	8/13 火	試掘監理	水源調査(チャワマ・ジョンハワード)
26	8/14 水	試掘監理	水源調査(ジャック)
27	8/15 木	試掘監理	水源調査(ジャック)
28	8/16 金	試掘監理	
29	8/17 土	試掘監理	
30	8/18 日	試掘監理	
31	8/19 月	試掘監理	
32	8/20 火	試掘監理	
33	8/21 水	試掘監理	
34	8/22 木	試掘監理	
35	8/23 金	試掘監理	
36	8/24 土	試掘監理	
37	8/25 日	試掘監理	
38	8/26 月	試掘監理	
39	8/27 火	試掘監理	
40	8/28 水	試掘監理	
41	8/29 木	試掘監理	
42	8/30 金	試掘監理	
43	8/31 土	試掘監理	
44	9/1 日	試掘監理	
45	9/2 月	試掘監理	
46	9/3 火	日本大使館報告、JICA報告	ルサカ発 > ヨハネスブルク着・発 > 香港
47	9/4 水	ヨハネスブルク > 香港着	
48	9/5 木	香港発 > 東京着	

(2) 第2次現地調査

日程	官団員		業務主任 / 建設施設整備計画	建設事情調査 / 施工計画 / 施工監理		
	計画管理	調査員				
1	9/22 日	/	東京発 > 香港着・発 > ヨハネスブルク	資料整理		
2	9/23 月		ヨハネスブルク着・発 > ルサカ着 JICA事務所打合せ、教育省との協議	試験施工監理		
3	9/24 火		教育省との協議、試験施工サイト調査 要請サイト調査	試験施工監理		
4	9/25 水		東京発 > 香港着・発 > ヨハネスブルク	教育省、州事務所との協議、 要請サイト調査、 LWSC, ZESCO調査	試験施工監理	
5	9/26 木		ヨハネスブルク着・発 > ルサカ着	特別教室の使用状況調査	試験施工監理	
6	9/27 金		教育省との協議、コンサルタントより状況報告 教育省次官表敬訪問	試験施工現場の視察、関連工場視察	試験施工監理	
7	9/28 土		BESSIP標準設計学校(ムソカ小中学校)建設現場視察		試験施工監理	
8	9/29 日		国内打合せ			
9	9/30 月		教育省との協議 試験施工サイト視察、材料強度試験視察、関連工場視察		試験施工監理	
10	10/1 火		要請サイト視察・教育省との協議	要請サイト視察・教育省との協議	試験施工監理	
11	10/2 水		日本大使館、JICA事務所報告 ルサカ発 > ナイロビ着・発 > アジスアババ着	日本大使館、JICA事務所報告 特別教室状況調査	試験施工監理	
12	10/3 木		/	教育省との協議、特別教室状況調査 ZEPIU調査	試験施工監理	
13	10/4 金			教育省との協議、住民集会参加 日本大使館報告、JICA報告 ルサカ発 > ヨハネスブルク着	試験施工監理	
14	10/5 土			アジスアババ発 > フランクフルト	ヨハネスブルク発 > 香港	試験施工監理
15	10/6 日			フランクフルト着・発 > 東京	香港着・発 > 東京着	資料整理
16	10/7 月		東京着		試験施工監理	

(3) 基本設計概要説明・追加現地調査

日程	官団員 団長	業務主任 / 建設施設整備計画	建設事情調査 / 調達計画・積算	サイト調査	建設事情調査 / 施工計画 / 施工監理
1	12/15 日	東京発 > 香港着・発 > ヨハネスブルク			資料整理
2	12/16 月	ヨハネスブルク着・発 > ルサカ着 JICA事務所打合、大使館表敬訪問			試験施工監理
3	12/17 火	財務省表敬訪問 試験施工サイト調査、要請サイト調査 (JACK)、教育省との協議			試験施工監理
4	12/18 水	JICA事務所打合、教育省次官表敬訪問 教育省との協議			試験施工監理
5	12/19 木	JICA事務所打合 教育省との協議	調達・積算追加現地調査		試験施工監理 大使館報告、JICA事務所報告
6	12/20 金	教育省計画局局長表敬訪問 教育省州及び地区事務所との協議	試験施工監理 1400 調達・積算追加現地調査		ルサカ発 > ヨハネスブルク着・発 > 香港
7	12/21 土	要請サイト調査 (JACK を除く 11 サイト)			香港着・発 > 東京着
8	12/22 日	団内打合せ			
9	12/23 月	教育省計画局局長との協議 教育省との協議	試験施工監理 調達・積算追加現地調査		
10	12/24 火	教育省次官との協議	試験施工監理 団内打合せ		
11	12/25 水	試験施工書類整理、団内打合せ			
12	12/26 木	900 教育省との議事録協議 議事録署名、試験施工教室教育省への引渡 (2 校)、日本大使館報告	試験施工監理 ルサカ発 > ヨハネスブルク着		
13	12/27 金	ルサカ発 > ヨハネスブルク着		資材調達調査	
14	12/28 土	ヨハネスブルク発 > 香港 香港着・発 > 東京着			

(4) 基本設計調査成果概要説明

日程	官団員 団長	業務主任 / 建設施設整備計画	建設事情調査 / 調達計画・積算	建築	
1	2/2 日	東京発 > 香港着・発 > ヨハネスブルク		東京発 > 香港着・発 > ヨハネスブルク	
2	2/3 月	ヨハネスブルク着・発 > ルサカ着 JICA事務所打合、教育省との協議		ヨハネスブルク着・発 > ルサカ着 JICA事務所打合、教育省との協議	
3	2/4 火	教育省との協議、JICA事務所打合 試験施工監理		教育省との協議、JICA事務所打合 試験施工監理	
4	2/5 水	教育省との協議、JICA事務所打合 試験施工監理	東京発 > 香港着・発 > ヨハネスブルク	教育省との協議、JICA事務所打合 試験施工監理	
5	2/6 木	教育省との協議	ヨハネスブルク着・発 > ルサカ着 JICA事務所打合、試験施工監理	教育省との協議	
6	2/7 金	教育省との協議、JICA事務所打合、試験施工監理			
7	2/8 土	要請サイト調査			
8	2/9 日	団内打合せ		ルサカ発 > ヨハネスブルク着	
9	2/10 月	教育省との協議、JICA事務所打合、試験施工教室の教育省への引渡 (1 校)		ヨハネスブルク発 > 香港	
10	2/11 火	教育省との協議、JICA事務所打合、試験施工サイト瑕疵検査 (2 校)		香港着・発 > 東京着	
11	2/12 水	教育省との協議、JICA事務所打合、試験施工サイト瑕疵検査 (1 校)			
12	2/13 木	議事録署名、大使館報告、JICA報告			
13	2/14 金	ルサカ発 > ヨハネスブルク着・発 > 香港			
14	2/15 土	香港着・発 > 東京着			

資料 - 3 関係者（面会者）リスト

(1) 第1次現地調査

在ザンビア日本大使館

新沼 敬

一等書記官

JICAザンビア事務所

佐々木 克宏

事務所長

濱岡 伯士

所員

中村 聡

教育技術協力顧問

鶴崎 恒雄

開発計画顧問

教育省

バーバラ チラングア

次官

ローレンス ムスンダ

計画局局长 / BESSIP コーディネーター

マイエンクンク

計画局副局長

ブリジット キタンボ

財務部長

ジョゼフ インテレ

計画局建設課主任建築官

パスカル チルバ

計画局建設課主任建築官補

ピーター チフト

建築官

イナムバオ マンゲレレ

技術官 / 土木技術官

ハカリマ

調達・供給局局长

財務省

チョンゴラ

経済・技術協力局局长代理

アグネス ムスンガ

経済・技術局主任エコノミスト

アカペルワ

経済・技術局上級エコノミスト

シカズワ

ZAMSIF 技官

公共事業省

ホイットニー ングルベ

建築局主任技術者

農業・組合省

ジョージ ピリ

主任技術者

ルサカ州教育局

アリス インザラ

上級教育官代理

ビリー カササ

上級建築官

フレッド カユラ

ボランティア スタッフ

パトリック チャンディ

ボランティア スタッフ

チョングエ地区教育局

シムワワ

地区教育官

ルサカ地区教育局

カイミカ 副教育官

ジョシア シムンブ 上級建築官

ルサカ市役所

ティモシー ハクユ 都市計画局・局長

カングワ チャマ 都市計画局・副局長

ジョゼフ ムクパー 都市計画局・局長補

ジョゼフ ズル 都市計画局・都市計画官

モヨ 都市計画局・都市計画官

ゼブロン ズル 都市計画局・測量士

ミリアム シアブタ 住宅局・上級コミュニティ開発官

国家住宅公社

ボールドウィン ムブジ 計画局長

ダニエル マンブエ 測量士

世界銀行

クレメント シアマトウェ 教育専門家

CARE

アンダーソン チブウェ 教育計画部長

(2) 第2次現地調査

在ザンビア日本大使館

稲垣 妙子 専門調査員

JICA ザンビア事務所

佐々木 克宏 事務所長

濱岡 伯士 所員

中村 聡 教育技術協力顧問

山田 理 無償資金協力調査員

教育省

バーバラ チラングア 次官

ジョゼフ インテレ 計画局建設課主任建築官

パスカル チルバ 計画局建設課主任建築官補

ムワンゲ 電気技術者

ルサカ州教育局

ボワシ 州教育官

アリス インザラ 上級教育官代理

ビリー カササ 上級建築官

フレッド カユラ ボランティア スタッフ

(3) 基本設計概要説明・追加現地調査

在ザンビア日本大使館

石 弘之

特命全権大使

沼田 由吏花

専門調査員

JICA ザンビア事務所

大田 孝治

次長

濱岡 伯士

所員

中村 聡

教育技術協力顧問

鶴崎 恒雄

開発計画顧問

教育省

バーバラ チラングア

次官

ローレンス ムスンダ

計画局局長 / BESSIP コーディネーター

ジョゼフ ンテレ

計画局建設課主任建築官

パスカル チルバ

計画局建設課主任建築官補

ピーター チフト

建築官

クリストファ カツンツ

主任計画官

財務・国家計画省

アグネス ムスンガ

経済・技術局主任エコノミスト

プムシラ ムソレ

経済・技術局上級エコノミスト

(4) 基本設計調査成果概要説明

在ザンビア日本大使館

沼田 由吏花

専門調査員

JICA ザンビア事務所

大田 孝治

次長

濱岡 伯士

所員

中村 聡

教育技術協力顧問

教育省

バーバラ チラングア

次官

ジョゼフ ンテレ

計画局建設課主任建築官

ピーター チフト

建築官

財務・国家計画省

アグネス ムスンガ

経済・技術局主任エコノミスト

ルサカ州教育局

シムカウダ

上級教育官代理

資料-4 ザンビア共和国の社会経済状況

ザンビア共和国
Republic of Zambia

一般指標				
政体	共和制	*1	首都	ルサカ (Lusaka) *2
元首	大統領 / レビ・ムワナワサ (Levy MWANAWASA)	*1,3	主要都市名	ヌドラ、キトウェ *3
独立年月日	1964年10月24日	*3,4	労働力総計	4,288千人 (2000年) *6
主要民族/部族名	トンガ系、ニャンジャ系、ベンバ系等	*1,3	義務教育年数	7年間 (年) *13
主要言語	英語、部族語	*1,3	初等教育就学率	86.4% (1998年) *6
宗教	伝統宗教、キリスト教	*1,3	中等教育就学率	26.5% (1998年) *6
国連加盟年	1964年12月1日	*12	成人非識字率	22.0% (2000年) *13
世銀加盟年	1965年9月23日	*7	人口密度	13.57人/km ² (2000年) *6
IMF加盟年	1965年9月23日	*7	人口増加率	2.8% (1980-2000年) *6
国土面積	752.61千km ²	*1,6	平均寿命	平均 41.00 男 41.40 女 40.60 *10
総人口	10,089千人 (2000年)	*6	5歳児未満死亡率	186/1000 (2000年) *6
			カロリー供給量	1,970.0 cal/日/人 (1997年) *10

経済指標				
通貨単位	クワチャ (Kwacha)	*3	貿易量	(2000年)
為替レート	1 US \$ = 4,950.00 (2002年12月)	*8	商品輸出	百万ドル *15
会計年度	Dec. 31	*6	商品輸入	百万ドル *15
国家予算	(1999年)		輸入カバー率	0.4(月) (1999年) *14
歳入総額	1,430.4 Billions of Kwacha	*9	主要輸出品目	銅、コバルト *1
歳出総額	1,874.3 Billions of Kwacha	*9	主要輸入品目	石油、肥料、電力等 *1
総合収支	百万ドル (2000年)	*15	日本への輸出	60.8百万ドル (2001年) *16
ODA受取額	795.1百万ドル (2000年)	*18	日本からの輸入	18.5百万ドル (2001年) *16
国内総生産(GDP)	2,910.83百万ドル (2000年)	*6		
一人当たりのGNI	300.0ドル (2000年)	*6	総国際準備	百万ドル (2000年) *6
分野別GDP	農業 27.3% (2000年)	*6	対外債務残高	5,729.9百万ドル (2000年) *6
	鉱工業 24.1% (2000年)	*6	対外債務返済率(DSR)	18.7% (2000年) *6
	サービス業 48.6% (2000年)	*6	インフレ率	80.8% *6
産業別雇用	農業 男 % 女 % (1998-2000年)	*6	(消費者価格物価上昇率)	(1990-2000年)
	鉱工業 % % (1998-2000年)	*6		
	サービス業 % % (1998-2000年)	*6	国家開発計画	貧困削減成長ファシリテーター、暫定的国家開発計画 (TNDP) *11
実質GDP成長率	0.5% (1990-2000年)	*6		

気象 (1961年~1990年平均) 観測地: カブウェ (南緯14度27分、東経28度28分、標高1,207m) *4,5													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計
降水量	241.8	186.0	107.5	32.9	4.9	0.1	0.0	0.1	0.8	30.9	101.3	233.7	945.0 mm
平均気温	21.2	21.1	20.9	20.0	18.0	16.0	16.0	18.5	22.2	24.2	23.0	21.4	20.2 °C

- *1 各国概況 (外務省)
- *2 世界の国々一覧表 (外務省)
- *3 世界年鑑2000 (共同通信社)
- *4 最新世界各国要覧10訂版 (東京書籍)
- *5 理科年表2000 (国立天文台編)
- *6 World Development Indicators2002(WB)
- *7 BRD Membership List(WB)
- IMF Members' Financial Data by Country(IMF)
- *8 Universal Currency Converter

- *9 Government Finance Statistics Yearbook 2000 (IMF)
 - *10 Human Development Report2000,2001(UNDP)
 - *11 Country Profile(EIU),外務省資料等
 - *12 United Nations Member States
 - *13 Statistical Yearbook 1999(UNESCO)
 - *14 Global Development Finance2001(WB)
 - *15 International Financial Statistics Yearbook 2001(IMF)
 - *16 世界各国経済情報ファイル2002(世界経済情報サービス)
- 注: 商品輸入については複式簿記の計上方式を採用しているため
支払い額はマイナス表記になる

ザンビア共和国
Republic of Zambia

項目	年度	1995	1996	1997	1998	1999
技術協力		22.37	20.52	18.08	15.56	15.00
無償資金協力		34.54	33.83	23.18	20.56	33.62
有償資金協力				129.19		
総額		56.91	54.35	170.45	36.12	48.62

項目	暦年	1995	1996	1997	1998	1999
技術協力		27.76	20.83	15.86	13.12	13.70
無償資金協力		34.28	27.44	35.72	22.97	41.89
有償資金協力		16.45	-5.99	-8.08	-2.49	3.82
総額		78.49	42.28	43.50	33.59	59.41

	贈与 (1) (無償資金協力・ 技術協力)	有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1)+(2)=(3)	その他政府資金 及び民間資金(4)	経済協力総額 (3)+(4)
二国間援助 (主要供与国)	476.6	9.6	486.2	-99.1	387.1
1. Germany	112.3	-0.1	112.2	-103.1	9.1
2. United Kingdom	105.4	6.0	111.4	-3.1	108.3
3. Netherland	51.2	0.0	51.2	-0.1	51.1
5. Japan	38.1	-6.2	31.9	0.1	32.0
多国間援助 (主要援助機関)	46.4	262.2	308.6	-15.7	292.9
1. IDA			205.8	0.0	205.8
2. IMF			26.4	0.0	26.4
その他	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3
合計	523.3	271.8	795.1	-114.9	680.2

技術協力：大蔵経済開発省 (研究員受入事業については大統領府)
無償：大蔵経済開発省
協力隊：大蔵経済開発省

*17 我が国の政府開発援助2000(国際協力推進協会)

*18 International Development Statistics (CD-ROM) 2002 OECD

*19 JICA資料

MINUTES OF DISCUSSIONS
ON THE BASIC DESIGN STUDY
ON THE PROJECT FOR CONSTRUCTION OF BASIC SCHOOLS
IN LUSAKA DISTRICT
IN THE REPUBLIC OF ZAMBIA

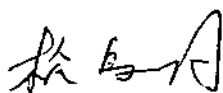
In response to a request from the Government of the Republic of Zambia (hereinafter referred to as "Zambia"), the Government of Japan decided to conduct a Basic Design Study on the Project for Construction of Basic Schools in Lusaka District (hereinafter referred to as "the Project") and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA").

JICA sent to Zambia the Basic Design Study Team (hereinafter referred to as "the Team"), headed by Mr. Masaaki MATSUSHIMA, Director of First Project Management Division, Grant Aid Management Department, JICA, and is scheduled to stay in the country from May 27, 2002 to July 2, 2002.

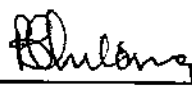
The Team held discussions with the officials concerned of the Government of Zambia and conducted a field survey at the study area.

In the course of discussions and field survey, both parties confirmed the main items described on the attached sheets. The Team will proceed to further works and prepare the Basic Design Study Report.

Lusaka, June 4, 2002



Mr. Masaaki Matsushima
Leader
Basic Design Study Team
Japan International Cooperation Agency



Ms. Barbara Y. Chilangwa
Permanent Secretary
Ministry of Education

witnessed by:



Ms. F. Chongola
Acting Director of ETC
Ministry of Finance and National Planning

F.C.

ATTACHMENT

1. Objective of the Project

The objective of the Project is to improve access and quality of Basic Education in Lusaka District through school building construction.

2. Project Sites

The sites of the Project are located in Lusaka District.

3. Responsible and Implementing Organizations

3-1. The Responsible Organization is the Ministry of Education.

3-2. The Implementing Organization is the Planning Unit and the Infrastructure Component of BESSIP, Ministry of Education, in cooperation with Lusaka Provincial Education Office and Lusaka District Education Office.

3-3. The organization chart of the Ministry of Education is attached as ANNEX 1.

4. Items requested by the Government of Zambia

After discussions with the Team, the items described in ANNEX 2 were finally requested by the Zambian side. JICA will assess the appropriateness of the request and will recommend the findings to the Government of Japan for approval. The candidate sites should be surveyed and examined in accordance with the criteria attached as ANNEX - 3.

5. Japan's Grant Aid Scheme

5-1. The Zambian side understood Japan's Grant Aid Scheme explained by the Team, as described in ANNEX 4.

5-2. The Zambian side will take the necessary measures, as described in ANNEX 5, for smooth implementation of the Project, as a condition for implementation of Japan's Grant Aid.

6. Schedule of the Study

6-1. The consultant team will stay in Zambia until July 2, 2002 to conduct further studies.

6-2. JICA will dispatch a mission in order to study the progress of the trial constructions around September, 2002. To supervise the trial constructions, one member of the consultants will remain in Lusaka until the completion of trial constructions.

6-3. JICA will prepare the first draft report in English and dispatch a mission in order to explain its contents around November, 2002.

6-4. Based on the results of discussions of the first draft report, JICA will proceed to

further examination of the study results in Japan until January, 2003.

6-5. JICA will prepare the final draft report in English and dispatch a mission in order to explain its contents around February, 2003.

6-6 In case that the contents of the final draft report is accepted in principle by the Government of Zambia, JICA will complete the final report and send it to the Government of Zambia by the middle of April, 2003

7. Trial Construction

7-1. The Zambian side understood that the objectives of the trial construction is to obtain the following information:

- 1) Construction capability of local contractors
- 2) Quality, price and availability of local construction materials
- 3) Capability, wage and availability of local construction workers
- 4) Construction cost
- 5) Appropriate material, design, specification and construction method of facilities
- 6) Appropriate construction schedule
- 7) Major items to be supervised during construction

7-2. Both sides agreed that the trial construction would be conducted in the following three sites, as expansion of existing middle basic school. The locations of the trial constructions are shown in ANNEX 6.

No.	Name of School	Location
1	Chunga Basic School (middle basic school)	Chunga Compound
2	Justine Kabwe Basic School (middle basic school)	Marapodi Compound
3	Kalingalinga Basic School (middle basic school)	Kalingalinga Compound

7-3. Both sides agreed that the following works would be done in each school under the trial construction.

- Construction of 1 school building (3 classrooms with blackboard, 1 teacher's room)
- Procurement of furniture (desks, chairs)

7-4. Both sides agreed that the trial construction will be conducted by using modified BESSIP standard, taking into consideration of the purpose of trial construction.

7-5. The Zambian side agreed that JICA would conduct trial constructions through contracts between the consultant and the contractors. The contractors should be one Japanese contractor and two local contractors, which should be determined through selected tendering.

7-6. Both sides agreed that Ministry of Education should be involved in some important stages of the trial constructions according to necessity, such as tender process, inspections during construction, etc.

7-7. Both sides agreed that the property right of the facilities belongs to JICA during the trial construction period.

F.C. JA



7-8. The Zambian side requested the hand-over of the facilities after the completion of trial construction. The Team explained that the final decision of the hand-over would be made on the basis of the Zambian side's written request after the completion of the trial construction.

7-9. The Zambian side understood that it would take all responsibilities relating to the hand-over and the operation and maintenance of the facilities after hand-over such as tax, assignment of teaching staff.

7-10. The Zambian side agreed that the necessary measures will be taken to ensure that all fiscal levies and taxes (except for Value Added Tax) relating to trial constructions would be exempted from the consultant.

8. Other Relevant Issues

8-1. Project Title

Both sides agreed that the Project title should be " Project for Construction of Basic Schools in Lusaka District ".

8-2. Phase of the Study

This basic design study is divided into two phases. The first phase is to prepare the first draft report of the study through site surveys. The second phase is to conduct a detailed design level study and to prepare the final report including drawings of the facilities.

8-3. Use of the results of detailed design level study

The Team explained that the Zambian side should be responsible for the outcome caused by using the result of the detailed design level study and not claim any responsibility to the Japanese side in this matter. However, the Zambian side expressed that the both sides should be responsible for that. Therefore, the both sides agreed that the defect and liability of drawings should be further discussed and finalized before the implementation stage of the Project.

8-4. Number of schools and classrooms

Both sides agreed that the total number of the requested schools, classrooms and other components might not be fully covered by the project according to the assessment of needs for each school.

8-5. Design criteria on the facility

Both sides agreed that the school buildings in the implementation stage (in case the project is approved by Japanese cabinet) should principally follow the BESSIP standard. However, the modification of BESSIP standard may be possible in the Project as a result of the basic design study, based on the necessity through the discussion between both sides.

8-6. Water supply facilities, gates and fences

Both sides agreed that gates and fences for each school would be prepared by Zambian side. However, the Zambian side requested that the study for water supply facilities including groundwater development in each school would be conducted by the Team,

if necessary. The Japanese side agreed that the above-mentioned study would be conducted within the Basic Design Study, however, the responsibility for actual physical drilling and fabrication in the implementation stage would be finally determined based on the study analysis.

8-7. Land Ownership document

The Zambian side agreed to provide the Team with necessary information to confirm the land ownership for the construction sites by June 28, 2002.

8-8. Allocation of teachers and administration staff

The Zambian side agreed to allocate sufficient number of teachers and administrative staff for the schools to be constructed by the completion of construction works.

8-9. Operation and maintenance

The Zambian side agreed to allocate necessary budget for the proper operation and maintenance of facilities and equipment covered by the Project.

8-10. Needs in other Provinces

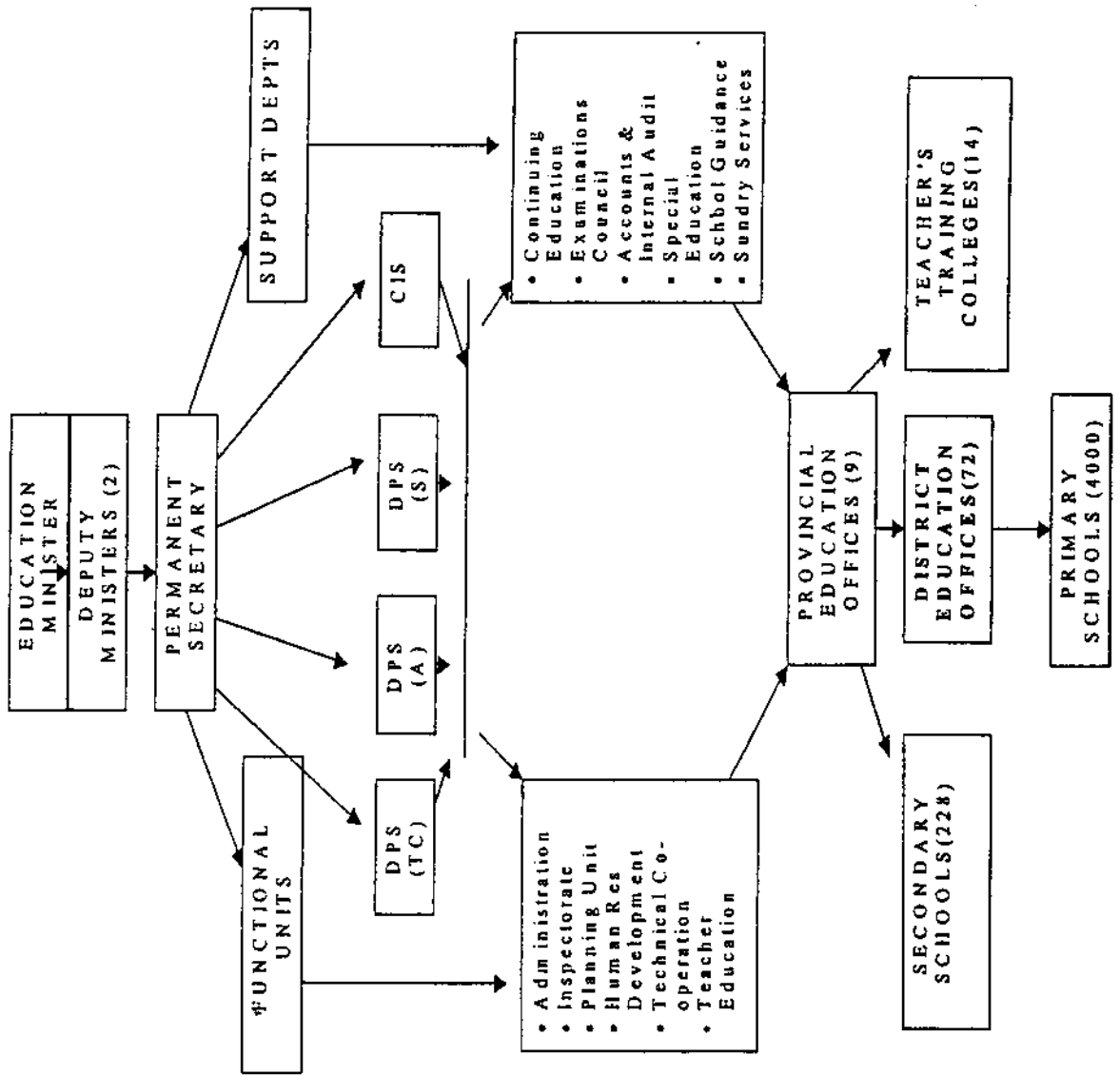
The Zambian side expressed the wish to extend the project to any other Provinces, e.g. Copperbelt Province.

8-11. Financial report

The both sides agreed that the activity report including payment should be given by Japanese consultant to Zambian side without delay to avoid any inconvenience of the smooth implementation of the Project and delays in financial reporting.

ANNEX 1. Organization Chart of Ministry of Education

Adminstru. Cont



F.C. HA

Re

ANNEX 2: Major items requested by the Zambian Side
(1/3)

The following sites are listed by Zambian Side as candidates for new Basic School constructions.

1. Mtendere
2. Chunga
3. Kabanana
4. Northmead
5. Ng'ombe
6. Libala Stage III
7. Chilenje South
8. Chelstone
9. Chazanga
10. Chawama/John Howard
11. Marapodi/Mandevu
12. Jack


Facility components necessary for a typical BESSIP basic school;

Facilities and furniture		Quantity	Specifications and standards on which to base calculation	
Facilities	Regular classrooms		28 As per MOE standard: 40 students per classroom Floor area per class room: approx. 58 m ²	
	Special-purpose classrooms		7 As per MOE standard: 20 students per classroom except library To be used as home economics and industrial arts rooms The contents of the special-purpose classrooms: 2 Industrial Arts classrooms (carpentry, drawings) 2 Home Economics classrooms 1 Library, 1 Laboratory, 1 classroom for SEN(Special Education Needs)	
	Administration office		1 building As per MOE standard Including head teacher's, deputy head teacher's and meeting rooms, and storage	
	Caretaker's house		1 building As per MOE standard	
	Lavatories	Flush type	4 buildings	For male students: stalls/urinals: 8/16
				For female students: 12
				For male teachers: 2
				For female teachers: 2
		Seepage type	2 buildings	For male students: 5
				For female students: 5
Washbasins		For male teachers: 1		
		For female teachers: 1		
Water supply and sewerage facilities	Well, pump room, elevated water tank, sewerage treatment facility		For male: 3	
			For female: 3	
Furniture	Regular classrooms	Desk and chair (student)	560 Two-seater type: 20/classroom Note: The quantity does not add up. $20 \times 28 = 560$	
		Desk (teacher)	28 1 each/classroom Note: The quantity does not add up. $1 \times 28 = 28$	
		Chair (teacher)	28 1 each/classroom Note: The quantity does not add up. $1 \times 28 = 28$	
	Special-purpose classrooms	Table for crafts	44 11 tables/classroom. $11 \times 4 = 44$ 1 table per 4 students plus 1 table for teacher. $40/4 + 1 = 11$ tables/classroom For carpentry lessons, 10 heavy-duty benches	
		Chair for crafts	164 41 chairs/classroom. $41 \times 4 = 164$ 1 table for student and 1 table for teacher	
	Administration office	Desk and chair	3 Head teacher, deputy head teacher and administrator	
		Cabinet	3	
		Locker	3	
		Chair for visitor	6	
		Bulletin board	4	
		Desk for meeting	6	
	Chair for meeting	24 4 chairs per table		

ANNEX 2 (2/3)

Equipment necessary for a typical BESSIP basic school;

Equipment		Quantity	Description
Equipment	Educational equipment	For general education	28 sets Triangle, straight edge, compass and protractor
		For home economics lessons	4 sets Sewing machine and cooker table with oven: 1 set/classroom Refrigerator: 1 set/school
		For carpentry lessons	4 sets Tools: 1 set/special-purpose classroom: plane (10), saw (10), chisel (5), hammer (5), set square (5), tape measure (5), engineer (1) Equipment: 1 set/2 special-purpose classroom: drilling machine (1), bench grinder (1), welding machine (1), drill bits (2), grinding disk (2), welding rod (1 box)

F.C. 



ANNEX 3: Criteria for Selection of Schools/Sites covered by the Project

Schools/sites satisfying the following criteria will be given priority:

- (1) Current and future quantitatively estimated needs for classrooms confirmed by population growth rate, number of school-aged children, enrollment ratio and other relevant data;
- (2) Sufficient teachers, budget allocation, and necessary cooperation from concerned people to operate and maintain facilities properly;
- (3) Legally confirmed ownership of land for construction;
- (4) Topographically safe and appropriate size of land for construction;
- (5) No constraints against construction such as occupation of out-of-law houses.
- (6) Proper access roads to carry construction materials and equipment into respective sites;
- (7) No threat of natural calamity to endanger the schools/sites;
- (8) No security problem around the schools/sites;
- (9) No other program or plan for new/undergoing classroom construction by other donors, NGOs and so forth.

Annex-4 The Japan's Grant Aid Scheme

The Grant Aid Program provides a recipient country with non-reimbursable funds to procure the facilities, equipment and services (engineering services and transportation of the products, etc.) for economic and social development of the country under principles in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. Grant Aid is not supplied through the donation of materials as such.

(1) Grant Aid Procedure

1) Japan's Grant Aid Program is executed through the following procedures.

Application (Request made by a recipient country)

Study (Basic Design Study conducted by JICA)

Appraisal & Approval

(Appraisal by the Government of Japan and Approval by Cabinet)

Determination of Implementation

(The Notes exchanged between the Governments of Japan and the recipient country)

2) Firstly, the application or request for a Grant Aid project submitted by a recipient country is examined by the Government of Japan (Ministry of Foreign Affairs) to determine whether or not it is eligible for Grant Aid. If the request is deemed appropriate, the Government of Japan assigns JICA to conduct a study on the request. If necessary, JICA send a Preliminary Study Mission to the recipient country to confirm the contents of the request.

Secondly, JICA conducts the study (Basic Design Study), using Japanese consulting firms.

Thirdly, the Government of Japan appraises the project to see whether or not it is suitable for Japan's Grant Aid Programme, based on the Basic Design Study report prepared by JICA, and the results are then submitted to the Cabinet for approval.

Fourthly, the project, once approved by the Cabinet, becomes official with the Exchange of Notes signed by the Governments of Japan and the recipient country.

Finally, for the implementation of the project, JICA assists the recipient country in such matters as preparing tenders, contracts and so on.

(2) Basic Design Study

1) Contents of the Study

The aim of the Basic Design Study (hereinafter referred to as "the Study"), conducted by JICA on a requested project (hereinafter referred to as "the Project"), is to provide a basic document necessary for the appraisal of the Project by the Government of Japan. The contents of the Study are as follows:

a) confirmation of the background, objectives and benefits of the Project and also institutional capacity of agencies concerned of the recipient country necessary for the Project's implementation;

b) evaluation of the appropriateness of the Project to be implemented under the Grant Aid Scheme from the technical, social and economic points of view;

c) confirmation of items agreed on by both parties concerning the basic concept of the Project;

d) preparation of a basic design of the Project; and

e) estimation of costs of the Project.

The contents of the original request are not necessarily approved in their initial form as the contents of the Grant Aid project. The Basic Design of the Project is confirmed considering the guidelines of Japan's Grant Aid Scheme.

F.c. JA

BR

The Government of Japan requests the Government of the recipient country to take whatever measures are necessary to ensure its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even through they may fall outside of the jurisdiction of the organization in the recipient country actually implementing the Project. Therefore, the implementation of the Project is confirmed by all relevant organizations of the recipient country through the Minutes of Discussions.

2) Selection of Consultants

For the smooth implementation of the Study, JICA uses a consulting firm selected through its own procedure (competitive proposal). The selected firm participates in the Study and prepares for a report based upon the terms of reference set by JICA.

At the beginning of implementation after the Exchange of Notes, for the services of the Detailed Design and Construction Supervision of the Project, JICA recommends the same consulting firm which participated in the Study to the recipient country in order to maintain the technical consistency.

(3) Japan's Grant Aid Scheme

1) Exchange of Notes (E N)

Japan's Grant Aid is extended in accordance with the Notes exchanged by the two Governments concerned, in which the objectives of the project, period of execution, conditions and amount of the Grant Aid, etc., are confirmed.

- 2) "The period of the Grant" means the one fiscal year which the Cabinet approves the project for. Within the fiscal year, all procedure such as exchanging of the Notes, concluding contracts with consulting firms and contractors and final payment to them must be completed.

However, in case of delays in delivery, installation or construction due to unforeseen factors such as weather, the period of the Grant Aid can be further extended for a maximum of one fiscal year at most by mutual agreement between the two Governments.

- 3) Under the Grant, in principle, Japanese products and services including transport or those of the recipient country are to be purchased.

When the two Governments deem it necessary, the Grant Aid may be used for the purchase of the products or services of a third country.

However, the prime contractors, namely consulting, contracting and procurement firms, are limited to "Japanese nationals". (The term "Japanese nationals" means persons of Japanese nationality or Japanese corporations controlled by persons of Japanese nationality.)

4) Necessity of "Verification"

The Government of the recipient country or its designated authority will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be verified by the Government of Japan. This "Verification" is deemed necessary to secure accountability to Japanese taxpayers.

5) Undertakings required to the Government of the recipient country

- a) to secure land necessary for the sites of the Project and to clear, level and reclaim the land prior to commencement of the construction;
- b) to provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities in and around the sites;
- c) to ensure all expenses and prompt execution for unloading and customs clearance at ports of disembarkation in the recipient country and internal transportation therein of the

K-C HA

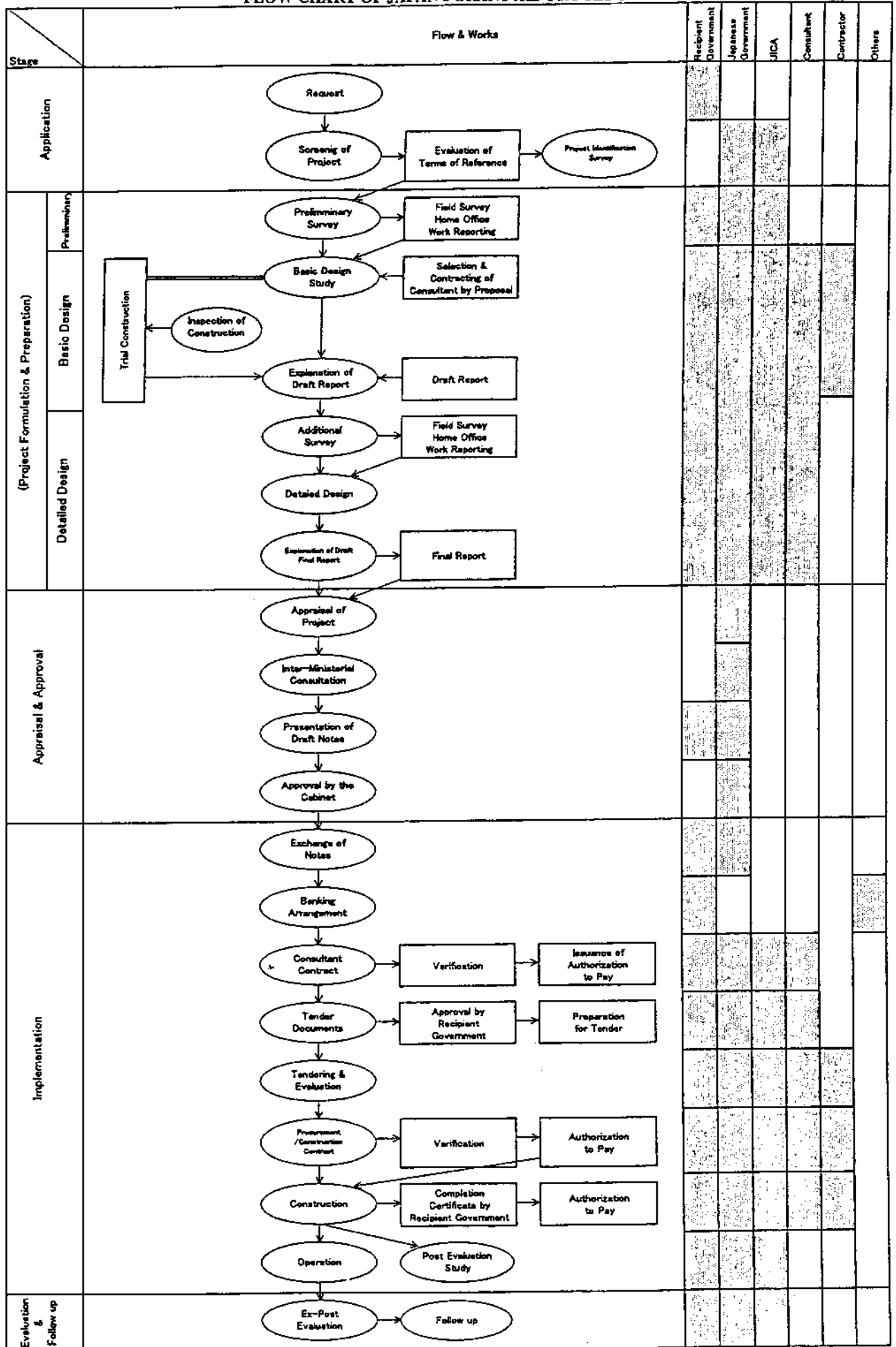
RR

- products purchased under the Grant Aid;
- d) to exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contracts;
 - e) to accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the verified contracts such as facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work:
- 6) "Proper Use"
- The recipient country is required to operate and maintain the facilities constructed and equipment purchased under the Grant Aid properly and effectively and to assign the necessary staff for operation and maintenance as well as to bear all the expenses other than those covered by the Grant Aid.
- 7) "Re-export"
- The products purchased under the Grant Aid shall not be re-exported from the recipient country.
- 8) Banking Arrangement (B/A)
- a) The Government of the recipient country or its designated authority should open an account in the name of the Government of the recipient country in a bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). The Government of Japan will execute the Grant Aid by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by the Government of the recipient country or its designated authority under the verified contracts.
 - b) The payments will be made when payment requests are presented by the Bank to the Government of Japan under an Authorization to Pay (A/P) issued by the Government of recipient country or its designated authority.
- 9) Authorization to Pay (A/P)
- The Government of the recipient country should bear an advising commission of an Authorization to Pay and payment commissions to the Bank.

R.C. HA

Be

FLOW CHART OF JAPAN'S GRANT AID PROCEDURES



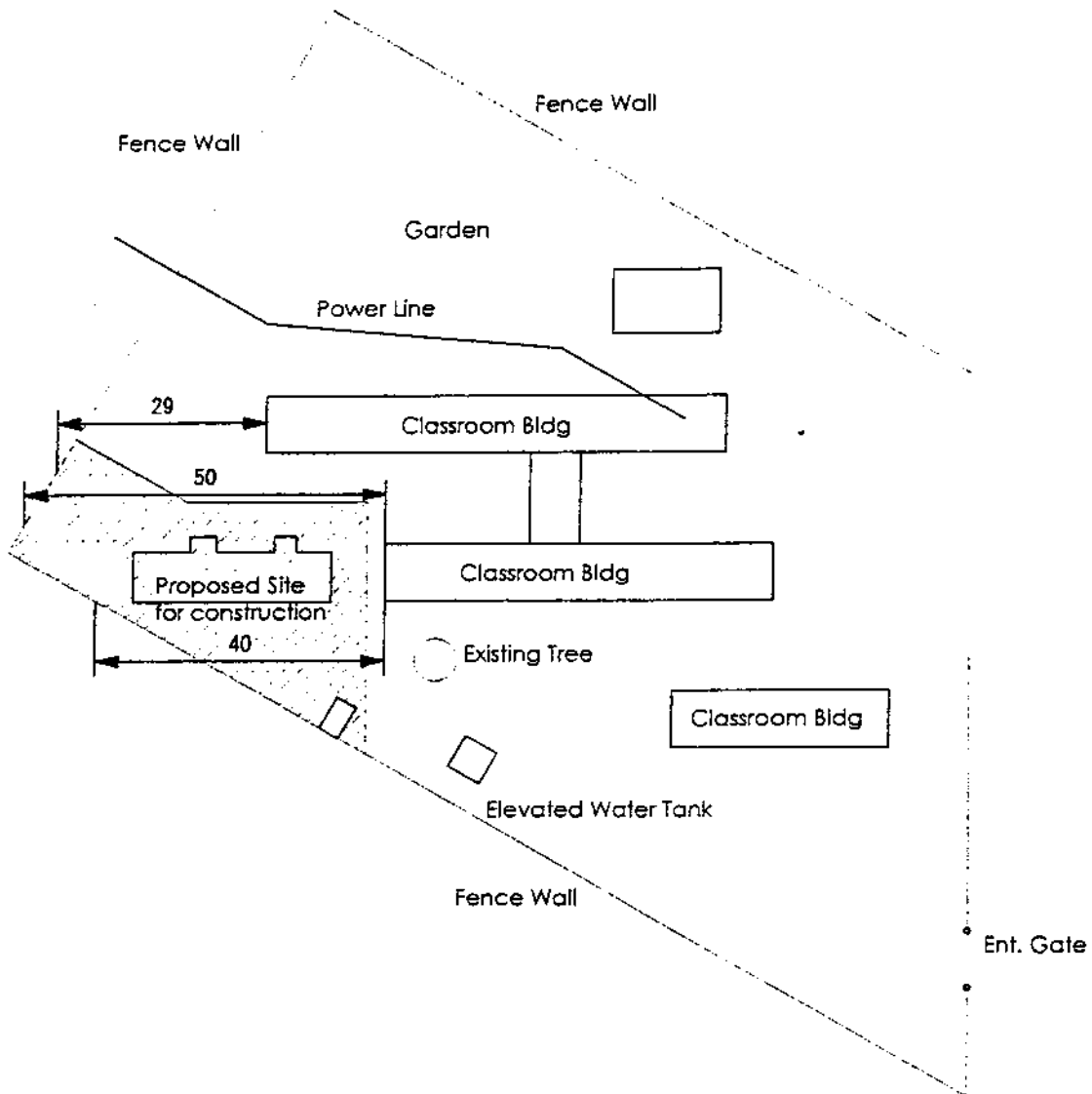
F.C. SA

BR

Annex - 5 Necessary measures undertakings by each government

No	Items	To be covered by Grant Aid	To be covered by Recipient side
1	To secure land		●
2	To clear, level and reclaim the site when needed		●
3	To construct gates and fences in and around the site		●
4	To construct the parking lot	●	
5	To construct roads		
	1) Within the site	●	
	2) Outside the site		●
6	To construct the building	●	
7	To provide facilities for the distribution of electricity, water supply, drainage and other incidental facilities		
	1) Electricity		
	a. The distributing line to the site		●
	b. The drop wiring and internal wiring within the site	●	
	c. The main circuit breaker and transformer	●	
	2) Water Supply		
	a. The city water distribution main to the site		●
	b. The supply system within the site	●	
	3) Drainage		
	a. The city drainage main (for storm, sewer and others) to the site		●
	b. The drainage system (for toilet sewer, ordinary waste, storm drainage and others) within the site	●	
	4) Gas Supply		
	a. The city gas main to the site		●
	b. The gas supply system within the site	●	
	5) Telephone System		
	a. The telephone trunk line to the main distribution frame, panel (MDF) of the building		●
	b. The MDF and the extension after the frame panel	●	
6) Furniture and Equipment			
a. General furniture		●	
b. Project equipment	●		
8	To bear the following commissions to a bank of Japan for the banking services based upon the B/A		
	1) Advising commission of A/P		●
	2) Payment commission		●
9	To ensure prompt unloading and customs clearance at the port of disembarkation in recipient country		
	1) Marine(Air) transportation of the products from Japan to the recipient country	●	
	2) Tax exemption and customs clearance of the products at the port of disembarkation		●
	3) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	(●)	(●)
10	To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work		●
11	To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contracts		●
12	To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and equipment provided under the Grant		●
13	To bear all the expenses, other than those to be borne by the Grant, necessary for construction of the facilities as well as for transportation and installation of the equipment		●

ANNEX G Location of the Trial Construction
(1/2)



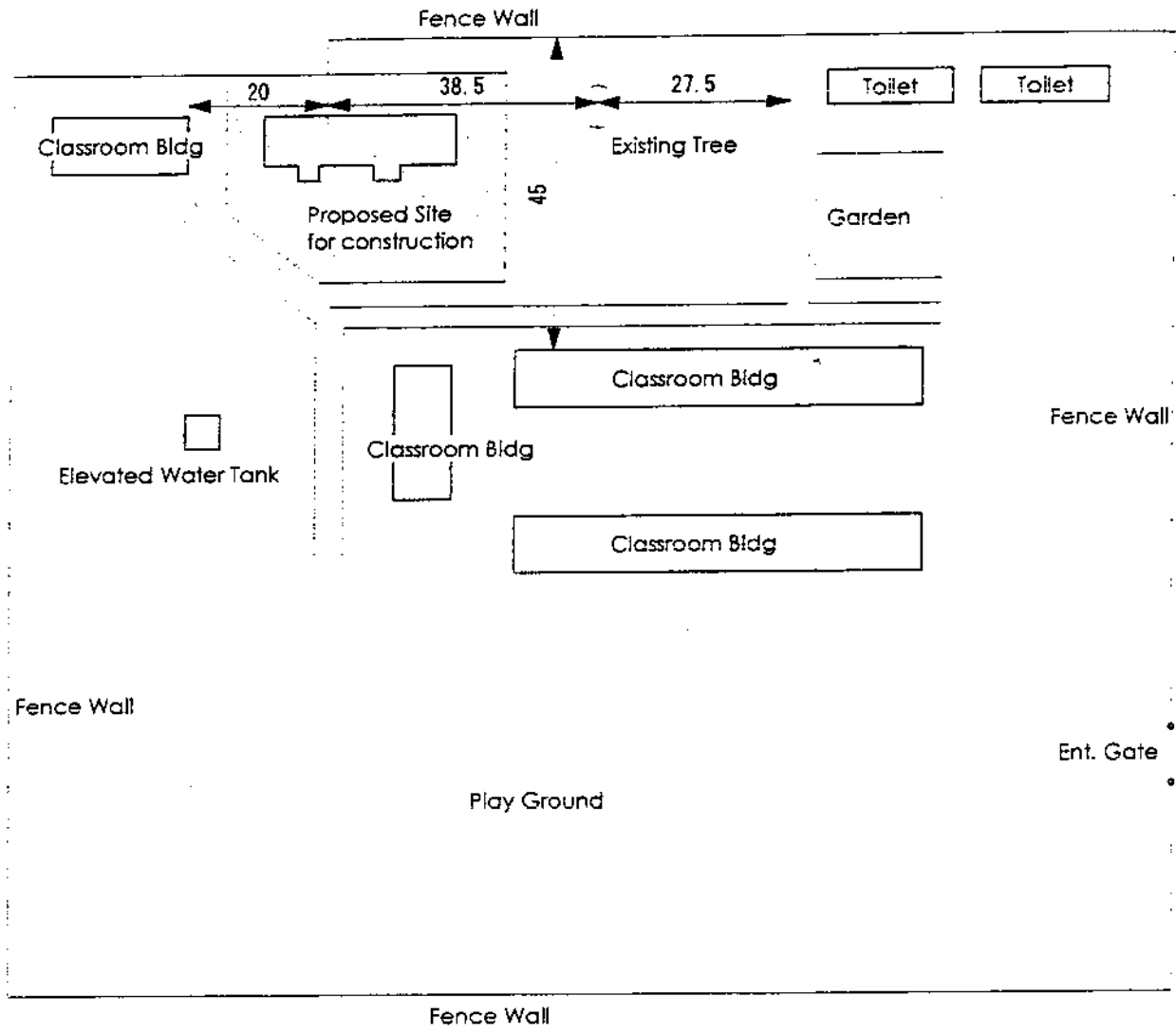
CHUNGA MIDDLE BASIC SCHOOL

Scale: 1/ 1.000

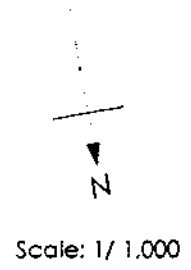
F.C. HA

De

ANNEX 6 (3/3)

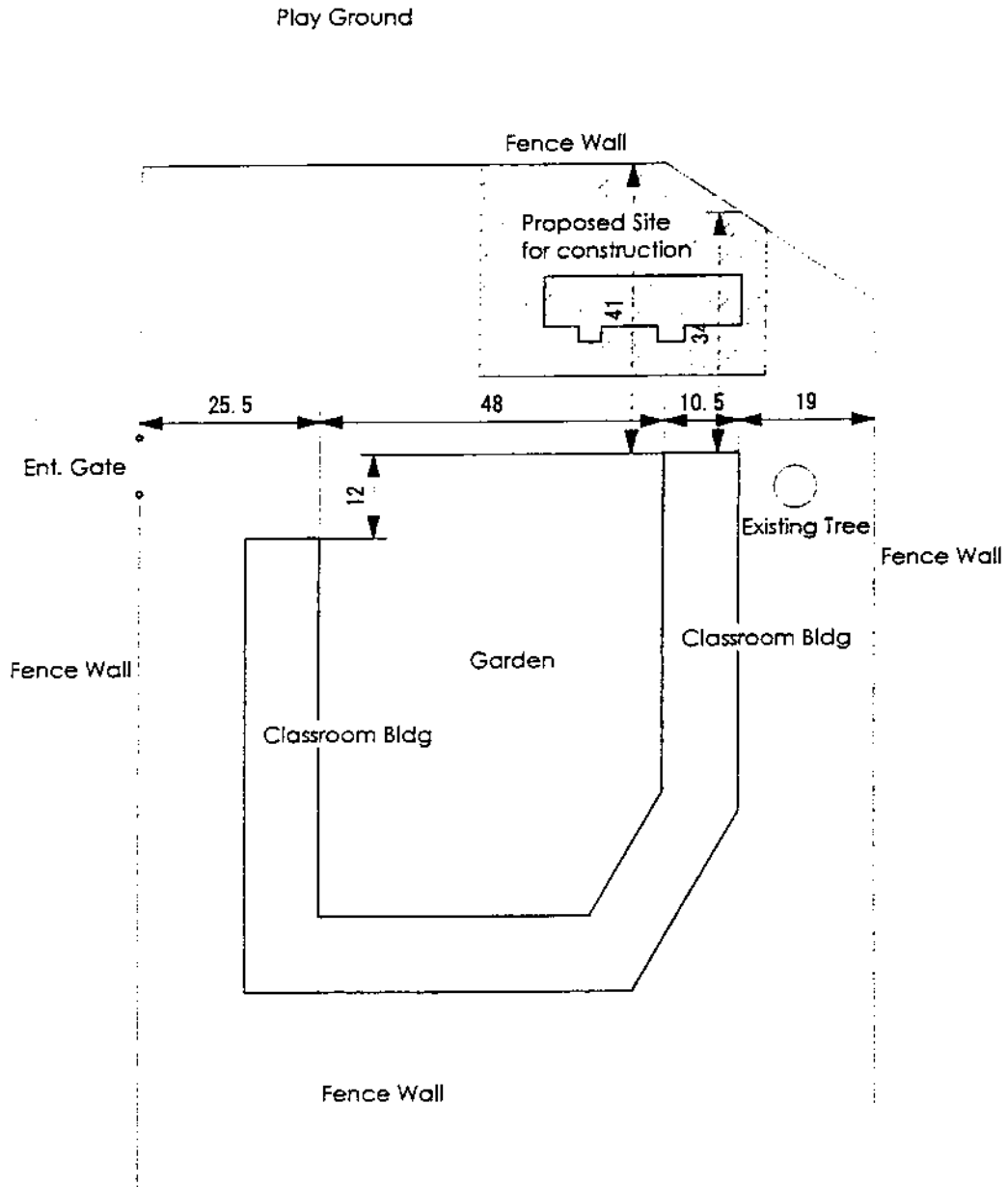


JUSTINE KABWE MIDDLE BASIC SCHOOL



F.C. *[Handwritten signature]*

[Handwritten mark]



KALINGALINGA MIDDLE BASIC SCHOOL

Scale: 1/ 1,000

K.C. HA

BR

ANNEX 7

Selection of Trial Construction Sites

Criteria	Site Name	CHIBELO	KALINGA-LINGA	MTENDERE	LUSAKASA	KABWATA	CHIBOLYA	CHUNGA	JUSTINE KABWE	CHILENJE "B"	STAE LODGE "B"
1	There is an Evident Need for Construction	○	○			○	○	○	○	○	
2	The Area of the Site is Large enough (More than 40m × 30m)	△	○	X	X	○	○	○	○	○	
3	The Land is Flat and Soil Condition is Good	△ Difference in level is there	○			○	○	○	○	○	
4	Legal Ownership of Land presents no problem	MOE	MOE			MOE	MOE	MOE	MOE	MOE	
5	Preparatory Work (land preparation and removal of existing bldgs) is unnecessary	○	○			○	△ Some rocks are there	○	○	○	
6	Construction Vehicles are Easily Accessible to the Site	○	○			○	○	○	○	○	
7	The Land is not Inundated by Floods in the Rainy Season	○	△			△	○	○	○	○	
8	Water and Electricity for Construction purposes are available	○	○			○	○	○	△ pump is not working	○	
9	Security is Ensured at Site	○ 2 watch men Police Officer	○ 3 watch men			○ 3 watch men	○ 8 police men	○ 2 police men	○ patrol only	○ 1 watch man Police Officer	
10	No Construction Project by Other Donors/Organizations is Requested, Planned or Implemented at Site	○	○			○	○	○	○	○	X
11	The Buildings after Handing Over can be Operated and Maintained with No Problem	△	○ PTA			○	○	○	○	○	
12	To be Middle Basic School	○	○			X 1-9 Grade	○	○	○	X 1-9 Grade	
JUDGEMENT		X	⊙	X	X	X	○	⊙	⊙	X	X
Number of Students		1750	1566	2087	660	1157	2048	967	2806	807	620
Number of Classrooms		24	12	15	17	21	16	15	28	21	6

NOTE

- ⊙ : The site is suitable for the Trial Construction.
- : There is a possibility to be the site for the Trial Construction.
- △ : There is few possibility to be the site for the Trial Construction.
- x : The site is not suitable for the trial construction.

(2) 基本設計概要説明


MINUTES OF DISCUSSIONS
ON THE BASIC DESIGN STUDY ON THE PROJECT FOR
CONSTRUCTION OF BASIC SCHOOLS IN LUSAKA DISTRICT
IN THE REPUBLIC OF ZAMBIA
(EXPLANATION ON DRAFT REPORT)

In June 2002, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") dispatched a Basic Design Study Team on the Project for Construction of Basic Schools in Lusaka District (hereinafter referred to as "the Project") to the Government of the Republic of Zambia (hereinafter referred to as "Zambia"), and through discussion, field survey, and technical examination of the results in Japan, JICA prepared a draft final report of the study.

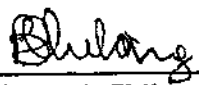
In order to explain and to consult the Zambian Government on the components of the draft final report, JICA sent to Zambia the Draft Report Explanation Team (hereinafter referred to as "the Team"), which was headed by Mr. Koji Ota, Deputy Resident Representative, the Zambian Office of JICA, from December 15 to December 28, 2002.

As a result of discussions, both parties confirmed the main items described on the attached sheets.

Lusaka, December 26, 2002

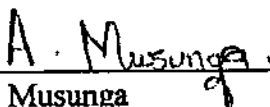


Mr. Koji Ota
Leader
Basic Design Study Team
Japan International Cooperation Agency



Ms. Barbara Y. Chilangwa
Permanent Secretary
Ministry of Education

witnessed by:



Ms. A. Musunga
Chief Economist
Ministry of Finance and National Planning

ATTACHMENT

1. Components of the Draft Final Report

The Government of Zambia agreed and accepted in principle the components of the draft final report explained by the Team. Moreover, the Zambian side understood that the final decision in this matter would be made by the Japanese side.

2. Japan's Grant Aid Scheme

The Zambian side understood the Japan's Grant Aid Scheme as explained by the Team and described in Annex-4 of the Minutes of Discussions signed by both parties on June 4, 2002.

3. Schedule of the Study

JICA will complete the final report in accordance with the confirmed items and send it to the Zambian side by April, 2003.

4. Other relevant issues

4-1. Schools, Facilities and Equipment covered by the Project

Both sides agreed on schools, facilities and equipment covered by the Project as shown in Annex-1 and Annex-2.

4-2. Necessary measures to be taken by the Zambian side

The Zambian side understood to take necessary measures as shown in Annex-3 for the smooth implementation of the Project. Besides, the Zambian side assured to execute necessary works as shown in Annex-4 and to open the budget line for the next fiscal year (2003/2004).

4-3. Allocation of Personnel and Budget

The Zambian side assured to allocate necessary budget and personnel (teaching & administrative staff) for operating school facilities and equipment under the supervision of Ministry of Education.

4-4. Proper Use and Maintenance

Both sides understood that proper use and maintenance of the facilities and equipment would be indispensable for their lifelong use. Now, the Zambian side assured to facilitate proper use and maintenance of the school facilities and equipment covered by the Project.

4-5. Security Measures

The Zambian side fully understands the importance of assurance of safety for personnel concerning the Project, and that the Zambian side should take necessary security measures for Japanese related to the Project during the project implementation.

4-6. Contents of the Draft Final Report

Both sides confirmed that the contents of the draft final report should be confidential. In order to keep the confidentiality, both sides should not disclose the contents to the third parties and not duplicate the draft final report itself.

4-7. Water taps for Environmental Science Room

A.M

JICA proposed that one water tap be fitted in three regular classrooms those could be used as home economics, industrial arts and environmental science rooms. But, as a result of discussion, both sides confirmed that three water taps would be fitted in one regular classroom that can be used as the environmental science room.

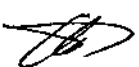
4-8. Socket for Regular Classroom

As a result of discussion, both sides confirmed that one socket would be fitted in each regular classroom that could be effectively used for plain experimentation, workshop of teachers, and so on.

4-9. Controlled use of Lavatory

The Zambian side assured to be responsible for the proper controlled use of lavatories, especially in case of power stoppage, locking the gates between water borne toilets and pit latrines in order to avoid the incorrect use of water borne toilets, because water borne toilets and pit latrines are in the same building.

End



A.M

資-32

3



List of Sites to be Provided under the Japanese Grant Aid Project

The following 12 sites are selected for the project. And the project will be implemented in two phases. The schools for each phase will be selected according to the priority indicated by the Ministry of Education, with the highest priority schools being constructed in Phase 1.

PHASE 1

1. Jack
2. Chunga
3. Chazanga
4. Chawama/John Howard
5. Chelstone
6. Ng'ombe

PHASE 2

7. Marapodi/Mandevu
8. Chilenje South
9. Northmead
10. Mutendere
11. Kabanana
12. Libala Stage III



A.M



List of Facilities and Equipments to be Provided under the Japanese Grant Aid Project

The following facilities and equipments are provided for each sites mentioned in ANNEX-1.

Facilities

1. 23 Regular Classroom
2. 1 Home Economics Room
3. 1 Administration Building
4. 1 Teachers' Office
5. 1 Library Space
6. 1 Guardhouse
7. 2 Lavatories

Equipments

1. Desk and Chair of Students and Teachers for Classrooms
2. Furniture for Administration Office
3. Equipments for Regular Classrooms
4. Equipments for Home Economics Room

A.M



Necessary Measures to be taken by Zambian Side

Zambian side for the smooth implementation of the Project takes the following measures.

- (1) Secure the land for the project and ensure its ownership into the future
- (2) Pay the advice fees, payment commissions, etc. for the Authorization to Pay (A/P) to Japanese banks in accordance with the Banking Arrangement (B/A)
- (3) Speedily conduct necessary customs procedures for the equipment and materials for the project
- (4) Provide exemption from the customs duties levied in Zambia on the services and equipment/materials provided in accordance with the approved agreement, and the domestic taxes levied on Japanese companies and Japanese individuals and other fees
- (5) Ensure the means for entry to and residence in Zambia needed to provide the services of the Japanese individuals and members of Japanese corporations needed to provide services and equipment/materials in accordance with the approved agreement
- (6) Issue the permits, exemptions etc. needed for project implementation, without delay
- (7) Secure the budget needed for satisfactory operation and measures against vandalism of the classrooms constructed in the project
- (8) Assign suitable teachers and secure the necessary measures for recruitment of students
- (9) (To be done by the Ministry of Education) Implement regular monitoring to ensure that the facilities constructed and equipment/materials provided by the grant aid are being suitably maintained by the Ministry of Education and the parent's association of that school, etc., and provide appropriate guidance and advice as needed
- (10) (To be done by the Ministry of Education) Establish the personnel and budgetary means for maintenance of water supply facilities
- (11) Bear all costs needed for planning not provided by Japanese grant aid

A.M

Necessary Works to be taken by Zambian Side

Zambian side for the smooth implementation of the Project executes the following works.

- (1) Remove existing facilities and structures (ex. the lavatories in Kabanana) that may hinder the construction, prepare the ground for construction and cut down trees prior to the start of construction
- (2) Perform electric wiring (all the sites) and water piping to the site (Libala Stage III and Northmead) and drainage from the site, and other incidental facility construction and work
- (3) Construction of Fence and Gate

A.M



(3) 基本設計調査成果概要説明

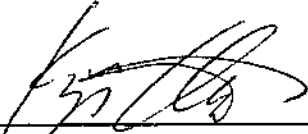
MINUTES OF DISCUSSIONS
ON THE BASIC DESIGN STUDY ON THE PROJECT FOR
CONSTRUCTION OF BASIC SCHOOLS IN LUSAKA DISTRICT
IN THE REPUBLIC OF ZAMBIA
(EXPLANATION ON DRAFT FINAL REPORT)

In May 2002, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") dispatched a Basic Design Study Team on the Project for Construction of Basic Schools in Lusaka District (hereinafter referred to as "the Project") to the Government of the Republic of Zambia (hereinafter referred to as "Zambia"), and through discussion, field survey, and technical examination of the results in Japan, JICA prepared a draft final report of the study.


In order to explain and to consult the Zambian Government on the components of the draft final report, JICA sent to Zambia the Draft Final Report Explanation Team (hereinafter referred to as "the Team"), which was headed by Mr. Koji Ota, Deputy Resident Representative, JICA Zambia Office, from February 3 to February 14, 2003.

As a result of discussions, both parties confirmed the main items described on the attached sheets.

Lusaka, February 13, 2003

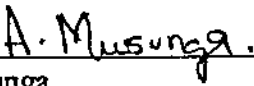


Mr. Koji Ota
Leader
Basic Design Study Team
Japan International Cooperation Agency



Ms. Barbara Y. Chilangwa
Permanent Secretary
Ministry of Education

witnessed by:



Ms. A. Musunga
Chief Economist
Ministry of Finance and National Planning

ATTACHMENT

1. Components of the Draft Final Report (including the Drawings)

The Government of Zambia agreed and accepted in principle the components of the draft final report (including the Drawings) explained by the Team. Moreover, the Zambian side understood that the final decision in this matter would be made by the Japanese side.

2. Other relevant issues

2-1. Land Ownership of "Jack"

The Zambian side confirmed that the Zambian side would take responsibility for the land ownership of the site at "Jack" in case of claiming by the third party.

2-2. Modification of Drawings

As a result of discussion, both sides confirmed that the following items of the drawings would be modified. The drawings are attached in sheet 1 to sheet 6.

- (1) Window Size of W1
- (2) Arrangement of Writing Boards
- (3) Wall of Pit for Pit Latrine
- (4) Toilet of Administration Building
- (5) Damp Proof Course
- (6) Spoon Drain

2-3. Construction of Fence and Gate

Both sides reconfirmed that the construction of permanent fence and gate should be made by the Zambian Side.

2-4. Allocation of Personnel

The Zambian side assured to allocate necessary personnel for Lusaka Provincial Education Office and Lusaka District Education Office to maintain target sites.

2-5. Other undertakings borne by Zambian side

Both sides confirmed that the other undertakings borne by Zambian side would be unchanged as described in the Minutes of Discussions of the "Explanation on Draft Report", dated December 26, 2002.

End

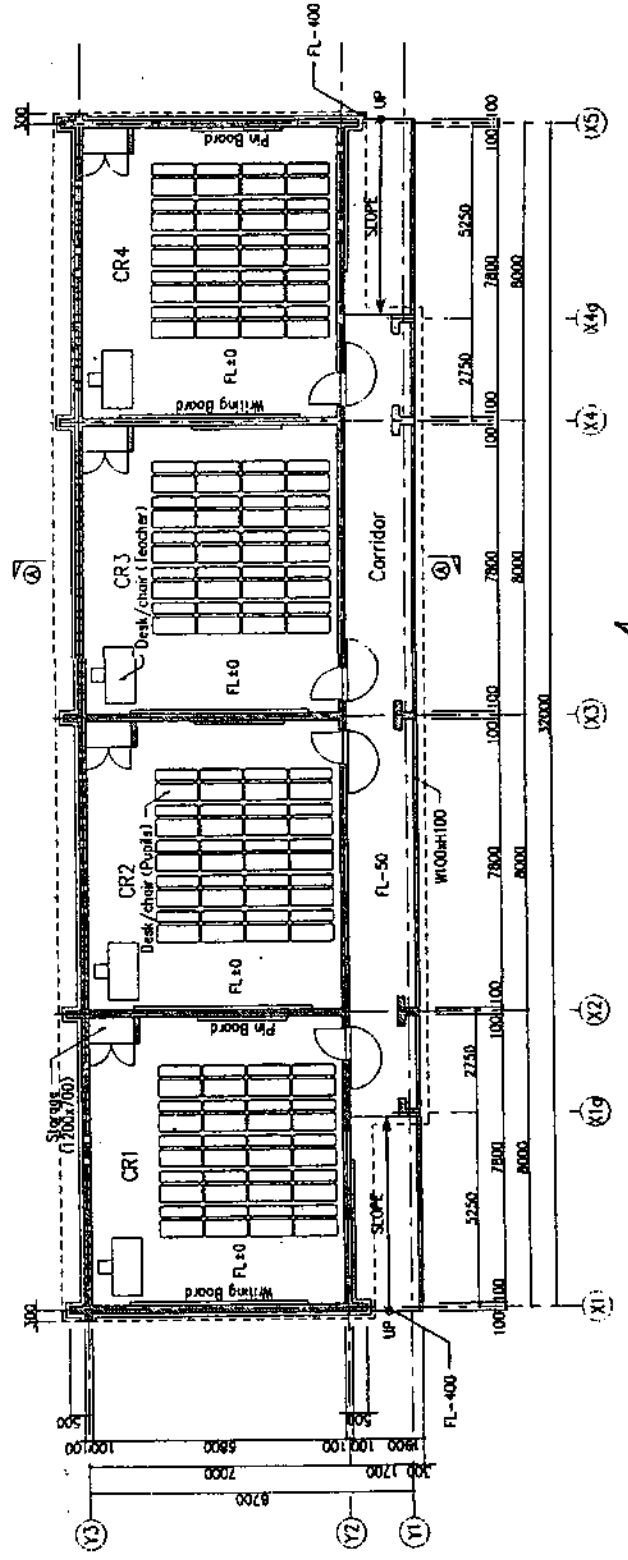
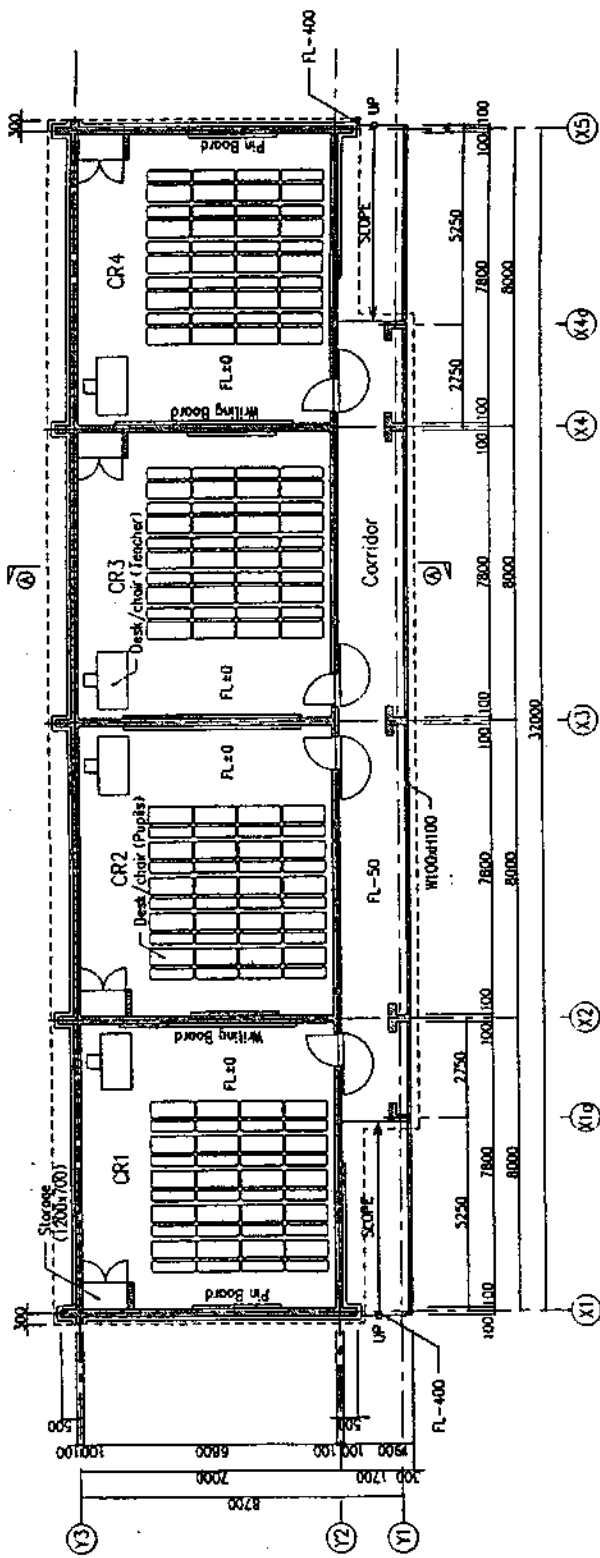
A.M

2

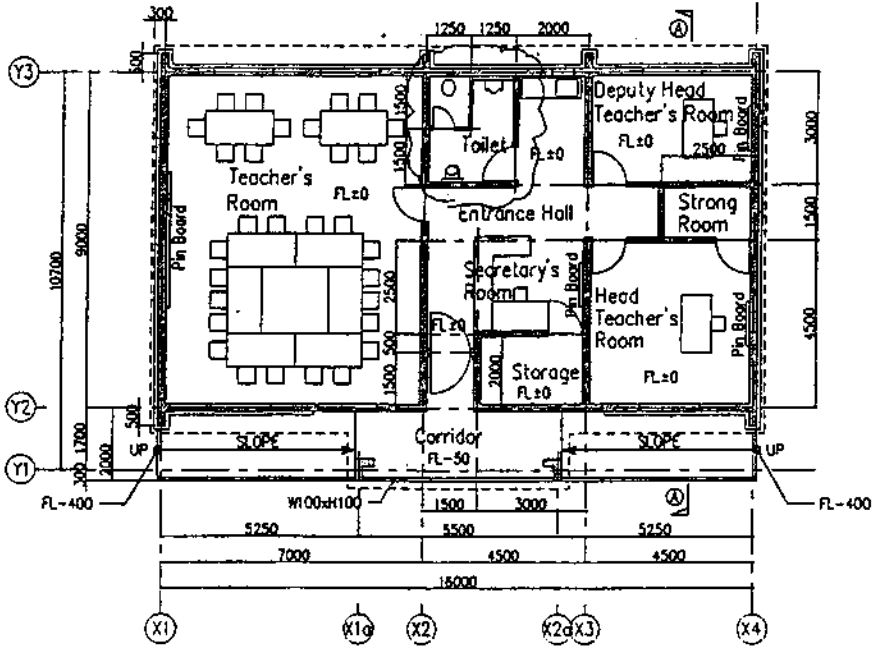
資-38



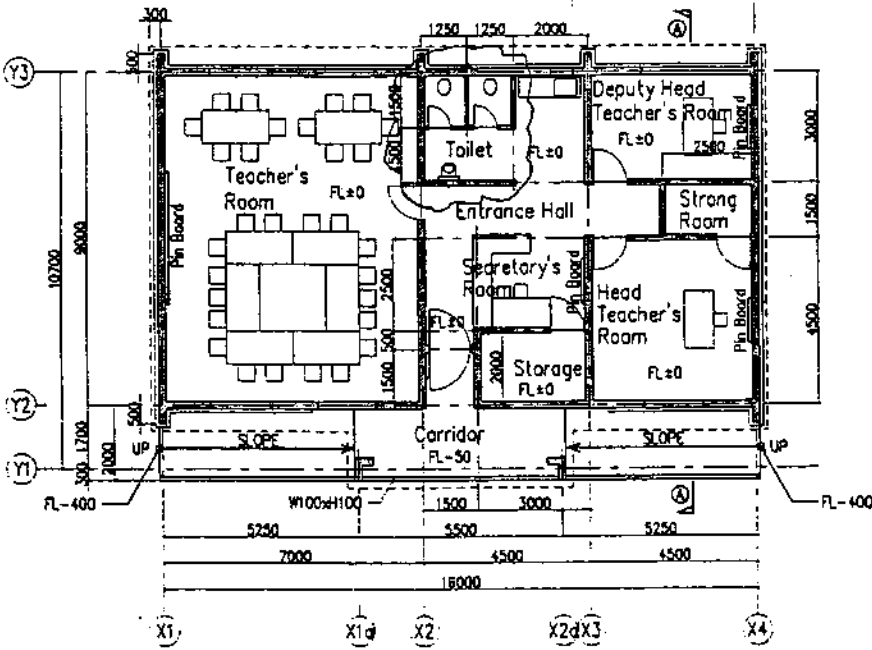
W 1	1:30	W 2	1:30	W 3	1:30	W 4	1:30
Frame	Material	Steel	Depth	25	Frame	Material	Steel
Finish	Dipped in Red Oxide at factory and painted Glass			Finish	Dipped in Red Oxide at factory and painted Glass		
Window	Material	Steel	Thick		Window	Material	Steel
Finish				Finish			
Accessory	Handle, Standard long Pegstay			Accessory	Handle, Standard long Pegstay		
Remark	Glass size approx 285x475, t=4, 12nos.			Remark	Glass size approx 125x1180 / 125x530, t=4, 1no.		
W 4	1:30	W 5	1:30	W 6	1:30		
Frame	Material	Steel	Depth	25	Frame	Material	Wood
Finish	Dipped in Red Oxide at factory and painted Glass			Finish	2 coats varnish		
Window	Material	Steel	Thick		Window	Material	Steel
Finish				Finish	Dipped in Red Oxide at factory and painted Glass.		
Accessory	Glass size approx 125x1180, t=4, 1no.			Accessory			
Remark				Remark			
<p style="text-align: center;">THE PROJECT FOR CONSTRUCTION OF BASIC SCHOOLS IN LUSAKA DISTRICT IN THE REPUBLIC OF ZAMBIA</p>							



A.M



A.M

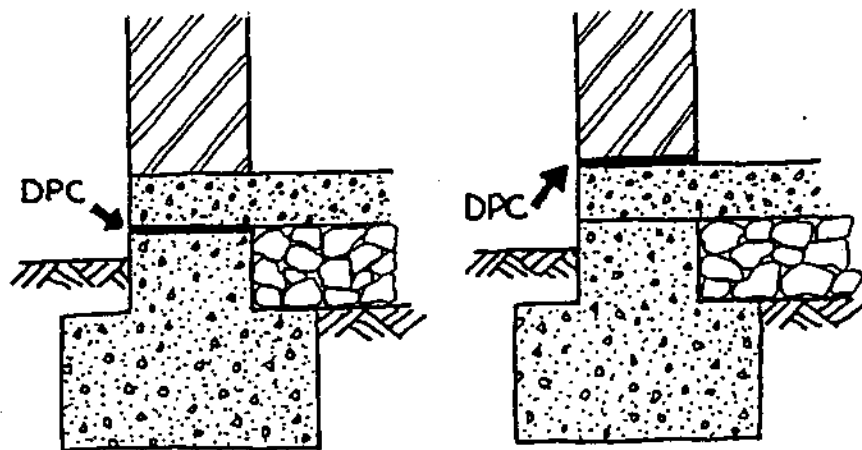


2.2.1.6 DAMP PROOF COURSE

Notes: (Attached Sheet-5)



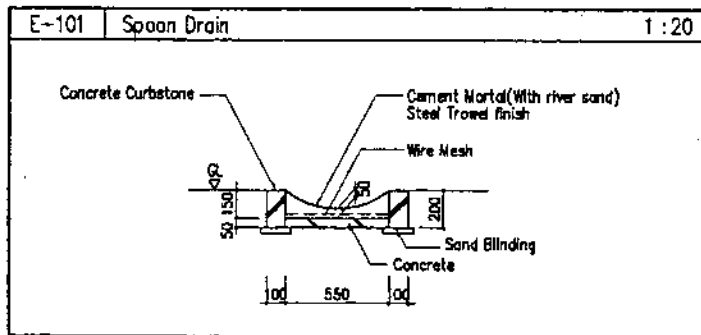
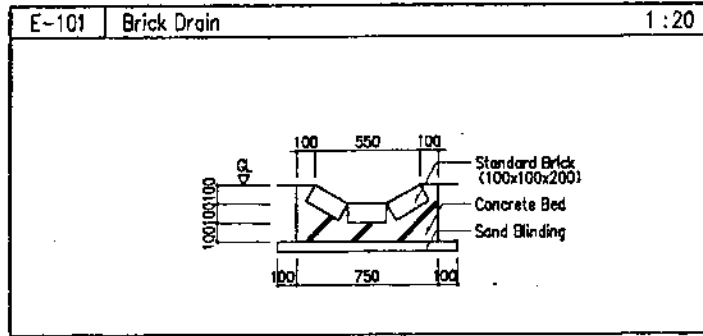
Description: A damp proof course is a moisture barrier, most often in the form of a sheet of bitumenous felt laid into the wall on the foundation above or below the floor slab to stop moisture rising from the foundation into the walls above floor level and thus creating a dry wall.



If the damp proof course is missing, a moist, mostly green mould will appear in corners. If the walls are painted you will see that paint and plaster will "bubble" off on the inside.

Continued

A.M



A.M



資料 - 6 事業事前評価表

事業事前評価表

1. 協力対象事業名
ザンビア共和国ルサカ市小中学校建設計画
2. 我が国が援助することの必要性・妥当性
<p>(1) 我が国は、ザンビア国が、アフリカ統一機構（OAU）等の有力メンバー国の一つであり、南部アフリカ地域において指導的立場にある国であること、世銀・IMFの支援の下、金融関連規制の自由化、公営企業の民営化、各種価格統制の廃止等の構造調整を積極的に推進していること、銅、コバルト等鉱物資源の供給国として我が国にとって重要であり、また、我が国と良好な関係にあること等から、援助を実施している。</p> <p>2000年3月に実施された経済協力総合調査団におけるザンビア側との政策対話を踏まえ、今後は、農村開発を中心とする貧困対策への支援、費用対効果の高い保健医療サービスの充実、均衡のとれた経済構造改革への支援、自立発展に向けた人材育成、域内相互協力の促進の5分野を重点分野として支援を行う方針である。</p> <p>(2) ザンビア国政府は、1996年に国家教育政策”Educating Our Future”を策定し、従来の高等教育重視から基礎教育重視へと政策転換を図った。本改革の中で、就学機会の拡大、公平性の促進、地域社会の学校教育への参画、地方分権化等が示されるとともに、2005年までに初等教育（第1～7学年）、2015年までに基礎教育（第1～9学年）の完全普及および後期中等教育（第10～12学年）への就学率50%達成という目標を設定した。またその具体化のため、現在中期的戦略計画である「基礎教育サブセクター投資プログラム（BESSIP）」を策定し、基礎教育を最優先課題として位置付けている。一方、高い人口増加率および財政悪化による教育投資の低下による施設不足のため、小学校就学年齢である全7歳児人口の約3割は、どの学校にもアクセスできずにいる。特に、首都ルサカ市においては、地方から都市部への人口流入が止まらず人口増加率が5～6%と高いことから、著しく教室数の不足が発生しており、就学率は66.4%と、全国平均77.9%を大きく下回っている。また、こうした状況から、依然として2部、3部制の授業が行われており、BESSIPにおいても学校インフラの拡充が重点分野として掲げられる事態となっている。</p>
3. 協力対象の目的（プロジェクト目標）
ルサカ市において、12校の新設小中学校を整備することにより、就学機会の拡大および学習環境の改善を図ることを目的とする。
4. 協力対象事業の内容
<p>(1) 対象 ザンビア国ルサカ州ルサカ市</p> <p>(2) アウトプット ルサカ市に12校の新設小中学校施設が整備される。</p> <p>(3) インプット 【日本側】</p> <p>1) 施設 小中学校（一般教室、家庭科室、管理棟、事務室、図書スペース、便所、ガードマン詰め所、給排水設備）12ヶ所の建設</p> <p>2) 家具 教室用家具、管理棟用家具の調達</p> <p>3) 教育機材 一般教室用および家庭科室用教育機材の調達</p>

【相手国側】

・建設用地の確保 ・敷地の造成 ・外塀、門扉の建設 ・電気、水道の引き込み

(4) 総事業費

概算事業費 14.60 億円 (日本国側 14.35 億円、ザ国側 0.25 億円)

(5) スケジュール

詳細設計期間を含め約 29 ヶ月の工期を予定 (2 期分けにて実施)

(6) 実施体制

実施機関：教育省 計画・情報局 建設課

運営機関：教育省 計画・情報局、各学校及び父兄会

5. プロジェクトの成果

(1) プロジェクトにて裨益する対象の範囲及び規模

ザンビア国ルサカ州ルサカ市の就学児童

裨益人口：初年度：約 18,240 人 (転入児童数(2~7 年生)および新入児童数(1,8 年生))

次年度以降：約 2,400 人 / 毎年 (第 1 学年新入児童数)

(2) 事業の目的 (プロジェクト目標) 達成を示す成果指標

1) ルサカ市における教育環境の向上

	2002 年 (本計画の実施前)	2006 年 (本計画の実施後)
ルサカ市における新入学児童数 (毎年)	小学校：15,688 人 中学校：4,391 人	小学校：18,088 人 中学校：5,831 人
ルサカ市における平均シフト数*	2.26	2.02

* 平均シフト数 = (ルサカ市の全児童数(1-7 年生)) / (ルサカ市の全教室数(1-7 年生用) × 40 人)

6. 外部要因リスク

(1) 教員の確保

ザンビア国では、毎年 4,000 人の教員が輩出されているが、本計画の実施により 1 期 6 校の新設校が増設され、204 名の教員 (新規輩出教員数の 5% 程度) と 12 名の校長・副校長の配置増が必要になる。ザ国教育省により教員養成・配置が適切に行われるとともに、現職教員の再訓練、2 部授業の訓練等の適切な対策がとられる必要がある。

(2) 運営・維持管理予算の確保

ザンビア国では、小中学校における運営・維持管理費はそのほとんどが PTA 会費により賄われているが、同国政府は 2002 年より小学校に対する無償教育 (PTA 会費負担なし) を実施している。このために教育省は、2001 年からの重債務削減措置 (HIPC) により増加した教育予算を、無償教育の原資にあてる方針であり、また、学校運営基金を PTA が廃品回収等で募ることを提唱している。政府の予算措置の確実な実行と共に、本計画の実施により新設される学校に於いても、父兄会による運営資金を確保する体制造りが必要である。

7. 今後の評価計画

(1) 事業評価に用いる成果指標

- 1) ルサカ市における新入学児童数
- 2) ルサカ市における平均シフト数

(2) 評価のタイミング

2006 年以降

資料 - 7 入手資料リスト

番号	資料の名称	発行年月	形態	版型	頁数	原版本	部数	収集先名称又は発行機関	寄贈購入の別	概要
1	1990 CENSUS OF POPULATION, HOUSING AND AGRICULTURE, DEMOGRAPHIC PROJECTIONS 1990-2015	1995年11月	印刷製本	A4	290	原版	1	Central Statistical Office, Republic of Zambia	寄贈	1990年度から2015年度までの5年刻みの将来人口推計。現在の人口規模・分布、県及び地区間移民、平均寿命、肥沃度、労働力参加などが説明変数。仮定によっては、2005～2015年の間に人口が2倍増。
2	A STUDY ON The Historical Background to Curriculum Development in Zambia, 1964-1999	1999年7月	印刷製本	A4	70	北	1	Curriculum Development Centre, Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国の教育カリキュラムの歴史に関する研究報告書。カリキュラムの歴史を(1)植民地時代のカリキュラム(1883-1963)(2)カリキュラムの地方分権化(1964-1974)(3)カリキュラムの実用主義化(1975-1989)(4)全ての人々のための基礎教育(1990-1999)に分けて分析している。
3	ANNEXURE		印刷	A4	15	北	1		寄贈	
4	ANNUAL REPORT 1998		印刷製本	A4	66	原版	1	Ministry of Education	寄贈	教育省の年刊白書、1998年度。
5	BASIC ECUDATION SUB-SECTOR INVESTMENT PROGRAMME (BESSIP), ANNUAL WORK PLAN, JANUARY-DECEMBER, 2000, Draft	1999年11月	印刷製本	A4	65	北	1	Management Implementation Team, MINISGTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	BESSIP(BASIC ECUDATION SUB-SECTOR INVESTMENT PROGRAMME)関連。2000年1月～12月の期間についての年間活動計画書。
6	BASIC ECUDATION SUB-SECTOR INVESTMENT PROGRAMME (BESSIP), BESSIP FUND and Preparatory Activities	1998年6月	印刷製本	A4	18	北	1	MINISGTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	
7	BASIC ECUDATION SUB-SECTOR INVESTMENT PROGRAMME (BESSIP), JOINT APPRAISAL REPORT	1998年9月	印刷製本	A4	46	北	1	Management Implementation Team, Planning Unit, MINISGTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	BESSIP 関連。合同評価報告書。教育省及びその他省代表と基金提供機関の代表が合同で行った BESSIP に対する評価会の報告書。1998年実施。
8	BASIC EDUCATION FOR SOME : FACTORS AFFECTING PRIMARY SCHOOL ATTENDANCE IN ZAMBIA	1999年4月	印刷製本	A4	98	原版	1	Ministry of Finance and Economic Development, Republic of Zambia	寄贈	教育省の研究報告書。定量分析により、低い小学校出席率に影響を与えている要因と、小学校出席率を改善する上で効果的な政策を方向付けている。
9	BASIC EDUCATION SUB-SECTOR INVESTMENT PROGRAMME (BESSIP), Annual Work Plan and Budget (January - December 2001)	2000年11月	印刷製本	A4	116	原版	1	Management Impresentation Team, Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	BESSIP 関連。2001年1月～12月の期間についての年間活動計画書および予算。

番号	資料の名称	発行年月	形態	版型	頁数	原バージョン	部数	収集先名称又は発行機関	寄贈購入の別	概要
10	BASIC EDUCATION SUB-SECTOR INVESTMENT PROGRAMME (BESSIP), Annual Work Plan and Budget (January - December 2002)	2001年12月	印刷	A4	94	北	1	Management Imprelementation Team, Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	BESSIP 関連。2002年1月～12月の期間についての年間活動計画および予算。
11	BASIC EDUCATION SUB-SECTOR INVESTMENT PROGRAMME (BESSIP), SEMI-ANNUAL REVIEW REPORT	1999年11月	印刷製本	A4	100	北	1	Management Imprelementation Team, MINISGTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	BESSIP 関連。1999年度。レビュー報告書(年2回提出するもの)
12	BASIC EDUCATION SUB-SECTOR INVESTMENT PROGRAMME (BESSIP), THIRD QUARTERLY PROGRESS REPORTS (JULY-SEPTEMBER 2001), Draft	2001年11月	印刷製本	A4	57	原版	1	Management Imprelementation Team, Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	BESSIP 関連。2001年度7月から9月までの第3四半期についての進捗報告書。
13	BESSIP Programme Implementation Plan		印刷	A4	91	北	1		寄贈	BESSIP のプログラム実施計画書。
14	Better Schools, Resource Materials for School Headteachers, Module 6, THE GOVERNANCE OF SCHOOLS	1996年3月	印刷製本	A4	49	原版	1	Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	学校長向けに作成された、学校管理手法改善・学校組織体制改善に関する指南書。
15	CONSUMER PRICE STATISTICS, Annual and Fourth Quarter Overview 1996	1996年12月	印刷製本	A5	28	原版	1	Central Statistical Office, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国1996年度の消費者物価指数に関する統計を掲載した小冊子。
16	DECENTRALISATION IN THE MINISTRY OF EDUCATION		印刷製本	A4	7	北	1		寄贈	
17	DECENTRALISATION OF THE EDUCATION SYSTEM AND ESTABLISHMENT OF EDUCATION BOARDS, INSTITUTIONAL ROLES, FUCTIONS AND RELATIONSHIPS, A NEW REVISED VERSION	2001年8月	印刷製本	A4	40	原版	1	Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国教育システムの中央集権化から起こる弊害をなくするためのガイドライン。ガイドラインは、教育の地方分権化を支援する機関である Education Boards の役割についても説明している。
18	EC MICROPROJECTS PROGRAMME, QUARTERLY REPORT, April to June 1997	1997年8月	印刷製本	A4	139	北	1(2分冊)	GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	金融経済開発省の Microprojects Unit の1997年4～6月にかけての四半期報告書。あらゆる分野の Microproject の財務統計を含む。
19	ECONOMIC REPORT 1997	1998年1月	印刷製本	A4	126	原版	1	MINISTRY OF FINANCE AND NAITONAL PLANNING, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア1997年度国経済白書。グローバルな視点から、国家経済、地方経済、個々の産業部門、将来予測まで。

番号	資料の名称	発行年月	形態	版型	頁数	原版本	部数	収集先名称又は発行機関	寄贈購入の別	概要
20	Educating Our Future, National Policy on Education	1996年5月	印刷製本	A4	181	原版	1	Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国における教育の国家総合計画についてまとめている。教育システムの改革から基礎教育・高等教育・さらに高等な教育・その他教育の目的・設立・財政などについての上位計画が記されている。
21	FINAL REPORT ON THE RESTRUCTURING OF THE MINISTRY OF THE EDUCATION	1997年10月	印刷	A4	75	原版	1	MANAGEMENT DEVELOPMENT DIVISION, CABINET OFFICE, Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	教育省再編のための提言をとりまとめた文書。組織の体制に ついての総合的提言と具体的側面に関する提言をとりまとめている。
22	FROM PROVINCIAL EDUCATION OFFICE		印刷	A4	3	北	1		寄贈	
23	INFRASTRUCTURE		印刷	A4	5	北	1		寄贈	
24	Luapula Teachers' Views on the Present and Future Basic School Curriculum, Summary of 351 Teachers' Views and Ideas	1999年11月	印刷製本	A4	21	原版	1	Curriculum Development Centre, MINISTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	1999年10月に Luapula 県で教師を対象に実施された、教育に関するアンケートをとりまとめた報告書。
25	LEARNING ACHIEVEMENT AT THE MIDDLE BASIC LEVEL, FINAL REPORT ON ZAMBIA'S NATIONAL ASSESSMENT PROJECT 1999	2000年5月	印刷製本	A4	116	北	1	The Examinations Council of Zambia on behalf of The Basic Education Sub-Sector Programme (BESSIP), Ministry of Education	寄贈	ザンビア国 National Assessment によって実施された同国 Grade 5 生徒の学力調査プロジェクトの研究報告書。学力は英語と数学について調査され、ザンビア国 Grade 5 生徒はいずれも低いことが分かった。教育環境の実状についてもコメントされている。
26	LIVING CONDITIONS IN ZAMBIA - 1998		印刷製本	A4	255	原版	1	CENTRAL STATISTICAL OFFICE, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	1998年、全国規模で実施された調査である Living Conditions Monitoring Survey の結果報告書。調査事項は、教育、衛生、経済、食料生産・消費、きれいな水へのアクセス、住居、社会経済施設（学校、衛生施設、交通）へのアクセスを含む。
27	LUSAKA CITY COUNCIL, 5 - YEAR STRATEGIC PLAN 1999-2004		印刷製本	A4	20	北	1	LUSAKA CITY COUNCIL	寄贈	LUSAKA CITY COUNCIL の 1999～2004 年度の戦略的計画を紹介した冊子。同組織のミッション、戦略的計画およびアクションプランが紹介されている。
28	LUSAKA MAP		地図			原版	1	NATIONAL TOURIST BOARD, Republic of Zambia	寄贈	ルサカ市地図。
29	MINISTRY OF EDUCATION, FINANCIAL STATISTICS 1986 TO 2000		印刷製本	A4	37	北	1		寄贈	教育省の財務統計、1986～2000年度
30	NGO COORDINATING COMMITTEE (NGOCC), LIST OF MEMBER ORGANISATIONS		印刷	A4	13	北	1		寄贈	NGOCC の会員組織の連絡先（住所・電話番号）のリスト。

番号	資料の名称	発行年月	形態	版型	頁数	原バージョン	部数	収集先名称又は発行機関	寄贈購入の別	概要
31	NON-GOVERNMENTAL ORGANIZATIONS' CO-ORDINATING COMMITTEE (NGOCC)	2002年2月	パンフレット		-	原版	1	NGO CO-ORDINATING COMMITTEE (NGOCC)	寄贈	非政府機関 NGOCC (NON-GOVERNMENTAL ORGANIZATIONS' CO-ORDINATING COMMITTEE) についての紹介パンフレット。NGOCC のビジョン・ミッション・機能・歴史、また女性センターの紹介・活動成果について。
32	PRELIMINARY REPORT FOR THE 2000 CENSUS OF POPULATION AND HOUSING POPULATION COUNT		印刷製本	A4	47	北	1		寄贈	2000年度国勢調査結果についての準備段階の報告書。結果に関する概観と統計データの速報版が掲載されている。
33	PREVENTIVE MAINTENANCE MANUAL FOR PRIMARY SCHOOLS	1995年	印刷製本	A4	45	原版	1	Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	小学校施設及び設備の維持管理マニュアル。
34	Primary and Basic School Teachers' Views on the Basic School Curriculum : A Summary of 500 Teachers' Questionnaires	1999年9月	印刷製本	A4	8	北	1	MINISTRY OF EDUCATION, CURRICULUM DEVELOPMENT CENTRE, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	教師に対して行ったアンケート結果を要約した文書。アンケートの回答を通じて現場教師から提起された教育上の問題点を解説している。
35	Project Implementation Manual	1994年	印刷製本	A4	178	原版	1	Microprojects Unit, National Commission for Development Planning, Republic of Zambia	寄贈	プロジェクト実施マニュアル。プロジェクト実施に関わる様々な問題・手法についての解説書。委員会の設置、銀行手続き、財務管理、物資調達、労働力確保、輸送、報告、法的遵守などについて図解付きで解説。ザンビア国政府機関作成。
36	PROVINCIAL DISSEMINATION SEMINARS REPORT OF THE 1990 CENSUS OF POPULATION, HOUSING AND AGRICULTURE	1996年12月	印刷製本	A4	100	原版	1	Central Statistical Office, Republic of Zambia	寄贈	1990年に実施された人口及び住居に関する国勢調査の結果について解説している。統計データ集ではない。
37	QUARTERLY DIGEST OF STATISTICS, Third & Fourth Quarters, 1996	1997年6月	印刷製本	A4	46	原版	1	CENTRAL STATISTICAL OFFICE, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	ザンビア国、1996年度第三及び第四、四半期、統計ダイジェスト。様々な統計指標を含む。
38	QUARTERLY EMPLOYMENT AND EARNINGS SURVEY, FOURTH QUARTER 1994		印刷製本	A5	10	原版	1	Central Statistical Office, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国、1994年度第4四半期における労働・賃金に関する統計を掲載した小冊子。
39	RESTRUCTURING FINANCIAL IMPLICATIONS		印刷製本	A4	16	北	1	Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	
40	SCHOOL DESKS, a manual for primary schools in Zambia		印刷製本	A4	43	北	1	Ministry of General Education and Culture, Zambia, and Swedish International Development Authority, Sweden	寄贈	既にザンビア各地の学校に供給されている学習机の補修維持方法を具体的に解説している。

番号	資料の名称	発行年月	形態	版型	頁数	原バージョン	部数	収集先名称又は発行機関	寄贈購入の別	概要
41	SELECTED SOCIO-ECONOMIC INDICATORS 1996	1997年3月	印刷製本	A4	32	原版	1	CENTRAL STATISTICAL OFFICE, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	ザンビア国 1996年度、社会経済指標の統計書。人口、教育、衛生、住宅・環境、インフラ、雇用、経済、農業を含む。
42	SELECTED SOCIO-ECONOMIC INDICATORS 1997	1998年1月	印刷製本	A4	32	原版	1	Central Statistical Office, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国 1997年度、社会経済指標の統計書。人口、教育、衛生、住宅・環境、インフラ、雇用、経済、農業を含む。
43	SOCIAL RECOVERY PROJECT, QUARTERLY REPORT, APRIL - JUNE 1999		印刷製本	A4	74	北	1	Microprojects Unit, Ministry of Finance and Economic Development, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国、社会復旧プロジェクトの 1999年度 4～6月の期間についての四半期報告書。復旧プロジェクトに関する種々の統計を含む。
44	STUDY ON THE EDUCATIONAL MATERIALS PROVISION AND UTILISATION, FINAL REPORT	1995年3月	印刷製本	A4	35	原版	1	MINISTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	ザンビア国における教材の現状についての研究報告書。教材の製作・出版・配布・利用の各段階について解説している。教材供給における政府・市場・海外援助の役割など。
45	Teacher's Curriculum Manual	2001年4月	印刷製本	A4	71	北	1	Curriculum Development Centre, MINISTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	Educating Our Future およびその解説である Curriculum Framework Document(CFD)を実践するための教師向けガイドライン。また、本ガイドラインは、教師に教育改革に関する最新の情報を知らせるといった目的もある。本ガイドラインは、EOF・CFD とそれを受けて改編される授業シラバスを教師が受け入れやすくする準備としての目的もある。
46	THE BASIC EDUCATION SUB-SECTOR INVESTMENT PROGRAMME (BESSIP), Programme Description, the Successes and the Challenges { 1999 - 2002 }, Draft	2002年4月	印刷	A4	18	北	1	BESSIP SECRETARIAT, MINISTRY OF EDUCATION, THE REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	BESSIP 関連。1999-2002年度のプログラムについての説明。BESSIPの目的達成度を測る指標や戦略について説明している。
47	THE LOCAL GOVERNMENT ACT, CHAPTER 281 OF THE LAWS OF ZAMBIA		印刷	A4	4	北	1		寄贈	
48	THE SENIOR SECONDARY MATHEMATICS SYLLABUS FOR ZAMBIA		印刷製本	A4	10	北	1	Curriculum Development Centre, Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国、GRADE 10,11,12用、数学、シラバス

番号	資料の名称	発行年月	形態	版型	頁数	原バージョン	部数	収集先名称又は発行機関	寄贈購入の別	概要
49	VIEWS OF STAKEHOLDERS OUTSIDE THE EDUCATION SECTOR ON THE BASIC SCHOOL CURRICULUM	2000年2月	印刷製本	A4	111	原版	1	Curriculum Development Centre, MINISTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	基礎教育カリキュラムについて教育分野外部の人間がどう思っているかについて、アンケート調査結果をとりまとめた報告書。アンケート内容は、教育カリキュラムの内容、理想カリキュラム、カリキュラム実践方法、教育目的などについて。アンケート対象者は、教育分野外部の親、公私部門経営者、教官、教員養成学校の生徒、生徒が含まれていた。
50	ZAMBIA BASIC EDUCATION COURSE, ENVIRONMENTAL SCIENCE SYLLABUS, GRADES 1-7	1995年	印刷製本	A4	64	1 st -	1	Curriculum Development Centre, MINISTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	ザンビア国、GRADE 1-7、環境科学、シラバス、1995年度。
51	ZAMBIA BASIC EDUCATION COURSE, HOME ECONOMICS SYLLABUS, GRADES 1-7, 1996	1996年	印刷製本	A4	35	1 st -	1	Curriculum Development Centre, MINISTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	ザンビア国、GRADE 1-7、家計、シラバス、1996年度
52	ZAMBIA BASIC EDUCATION COURSE, HOME ECONOMICS SYLLABUS, GRADES 1-7, 1995	1995年	印刷製本	A4	34	1 st -	1	Curriculum Development Centre, MINISTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	ザンビア国、GRADE 1-7、家計、シラバス、1995年度
53	ZAMBIA BASIC EDUCATION COURSE ENVIRONMENTAL SCIENCE SYLLABUS, GRADES 1-7	1996年	印刷製本	A4	64	原版	1	Curriculum Development Centre, Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国、GRADE 1-7、環境科学、シラバス、1996年度。
54	ZAMBIA BASIC EDUCATION COURSE MATHEMATICS SYLLABUS, GRADES 1-7		印刷製本	A4	25	原版	1	Curriculum Development Centre, Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国、GRADE 1-7、数学、シラバス
55	ZAMBIA BASIC EDUCATION COURSE PHYSICAL EDUCATION SYLLABUS, GRADES 8-9	1997年	印刷製本	A4	13	1 st -	1	Curriculum Development Centre, Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国、GRADE 8,9 用、物理教育、シラバス
56	ZAMBIA BASIC EDUCATION COURSE SOCIAL STUDIES SYLLABUS, GRADES 1-7		印刷製本	A4	34	1 st -	1	Curriculum Development Centre, Ministry of Education, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国、GRADE 1-7、社会科、シラバス
57	ZAMBIA IN FIGURES 1997		印刷製本	A5	6	原版	1	Central Statistical Office, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国 1997年度の基本的な社会経済指標を掲載した小冊子。

番号	資料の名称	発行年月	形態	版型	頁数	原バージョン	部数	収集先名称又は発行機関	寄贈購入の別	概要
58	Zambia Poverty Reduction Strategy Paper 2002-2004	2002年3月	印刷	A4	197	北-	1	MINISTRY OF FINANCE AND NATIONAL PLANNING, Republic of Zambia	寄贈	ザンビア国 2002～2004 年度の貧困削減戦略白書。小項目として、農業、工業、観光産業、鉱業、教育、衛生、上下水道、エネルギー、交通・通信、HIV、ジェンダー、環境が分かれている。
59	Zambia Primary School Infrastructure Study, Final Report	2000年8月	印刷 製本	A4	53	北-	1	Republic of Zambia, World Bank	寄贈	ザンビア国における学校設立に関する研究。学校設立に関連する政府・NGO の政策・プログラム、学校施設の設計・施工の状況、学校設立のために採られている手法、数量単価についての調査結果を解説している。
60	Zambia Social Investment Fund		印刷 製本	A4	28	原版	2	Zamsif Management Unit, Ministry of Finance and National Planning	寄贈	Ministry of Finance and National Planning の貧困削減政策支援プログラムである Zamsif(Zambia Social Investment Fund、ザンビア社会投資基金)についての紹介冊子。
61	ZAMBIA TEACHER EDUCATION COURSE, LITERACY AND LANGUAGE EDUCATION SYLLABUS	1997年	印刷	A4	36	北-	1	Curriculum Development Centre, MINISTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	ザンビア国、教師訓練用、読み書き及び言語教育、シラバス
62	ZAMBIA TEACHER EDUCATION COURSE, MATHEMATICS AND SCIENCE EDUCATION SYLLABUS	1997年	印刷	A4	13	北-	1	Curriculum Development Centre, MINISTRY OF EDUCATION, REPUBLIC OF ZAMBIA	寄贈	ザンビア国、教師訓練用、数学及び科学教育、シラバス